

化審法低生産量・少量新規化学物質
申出システム(ver7.03)
インストール説明書

経済産業省 産業保安・安全グループ
化学物質管理課 化学物質安全室

2025/10/21

1 はじめに	2
2 動作環境	3
2.1 動作環境.....	3
2.2 注意事項.....	4
3 申出システムのインストール手順	4
3.1 インストーラによる申出システムのインストール.....	5
3.2 zip ファイルによる申出システムのインストール	10
4 Access Runtime のインストール手順	12
4.1 Microsoft 365 Access Runtime をインストールする	12
4.1.1 外部ネットワークへ接続可能な環境にインストールする	13
4.1.2 外部ネットワークへ接続できない環境にインストールする	16
4.2 AccessDatabaseEngine をアンインストールする	28
5 Adobe Reader のインストール手順	31
5.1 Adobe Reader をインストールする	31
6 (応用)データベースの共有	34
6.1 データベース共有とは	34
6.2 データベース共有によるメリット	34
6.3 データベース共有によるデメリット	34
6.4 データベース共有を実施する手順.....	35
6.5 システム利用開始後にデータベース共有を実施する手順	39
7 (応用)パソコン更新手順	40
7.1 バックアップ	40
7.2 申出システムのインストール.....	40
7.3 バックアップデータの移行	40

1 はじめに

本説明書は、「化審法低生産量・少量新規化学物質申出システム (Ver. 7.03)」(以下、「申出システム 7.03」という)のインストール手順を説明することを目的としています。申出システム 7.03 のインストールの際は、必ず本説明書をご覧ください。

本説明書は、申出システム 7.03 がインストールされていないパソコンに申出システム 7.03 をインストールすることを想定しています。申出システム 7.03 以前の申出システムがインストールされているパソコンに申出システム 7.03 をインストールしようとする場合は、「最新版更新用ファイル インストール説明書 申出システム (ver7.03) 利用者向け」をご覧ください。

2 動作環境

本章では、申出システム 7.03 を動作させるために必要な環境について説明します。

2.1 動作環境

申出システム 7.03 の動作環境は以下の通りです。

項目	主な仕様
OS	Microsoft Windows 11 (64bit) 日本語版
CPU	1GHz 以上で 2 コア以上の 64bit(x64) プロセッサ
メモリ	4GB 以上の RAM
ディスク容量	84GB 以上の空き容量のあるディスク領域
デバイス	解像度 1024×768 以上で True Color (24bit) 以上出力可能なモニタ、キーボード、マウス、プリンタ、CD-ROM ドライブ
その他	Microsoft Office 365 (32bit または 64bit) Microsoft 365 Access Runtime(※) ※詳細は「4 Microsoft 365 Access Runtime のインストール手順」を参照 Adobe Reader .NET Framework 4.8 (Windows 11 標準搭載)

2.2 注意事項

申出システム 7.03 のインストールを行う上での注意事項は以下の通りです。

- ① 申出システム 7.03 は **Microsoft 365 Access Runtime のインストールが必要です。(Access 365 がインストールされている場合でも、別途 Microsoft 365 Access Runtime のインストールが必要です)**。この要件を満たさない場合、「4. Microsoft 365 Access Runtime のインストール手順」を参照の上、インストールを実施してください。
- ② 申出システム 7.03 は .NET Framework 4.8 で作成されています。本プログラムを導入しようとするパソコンで Visual Studio 等を用いて開発などを行っている場合や、独自のソフトがすでにインストールされている場合には、不整合が生じる恐れがあります。そのような場合には別にパソコンをご用意ください。
- ③ 申出システム 7.03 は PDF ファイルの出力機能があるため、**Adobe Reader のインストールが必要です**。Adobe Reader がインストールされていないパソコンで Adobe Reader が必要な機能を利用すると、Adobe Reader のインストールを促すメッセージが表示されます。「5. Adobe Reader」のインストール手順を参照の上、インストールを実施してください。
- ④ 申出システム 7.03 をインストールする際には、インストールを行うパソコンで起動している全てのアプリケーションを終了させてください（ウイルス対策ソフトなどの常駐型アプリケーションも終了させておいてください）。他のアプリケーションを終了しないままインストールを行った場合、お使いのパソコンのシステムに障害が発生する可能性があります。
- ⑤ 申出システム 7.03 をインストールする際には Windows のユーザ ID がすべて半角のユーザでログインし、インストールを行ってください。

3 申出システムのインストール手順

本章では、申出システム 7.03 のインストール手順について説明します。

インストール方法はインストーラを利用した方法と、zip ファイルを使用した方法をご用意しております。一般ユーザがインストーラを利用してインストールするには管理者ユーザでの実行が必要となるため、管理者ユーザのパスワードの入力が要求されます。一方、zip ファイルを使用した場合は管理者ユーザでの実行が必要ありませんので、管理者ユーザのパスワードがご不明な方、またはインストーラによるインストールが禁止されている方は zip ファイルを使用して申出システムをインストールしてください。

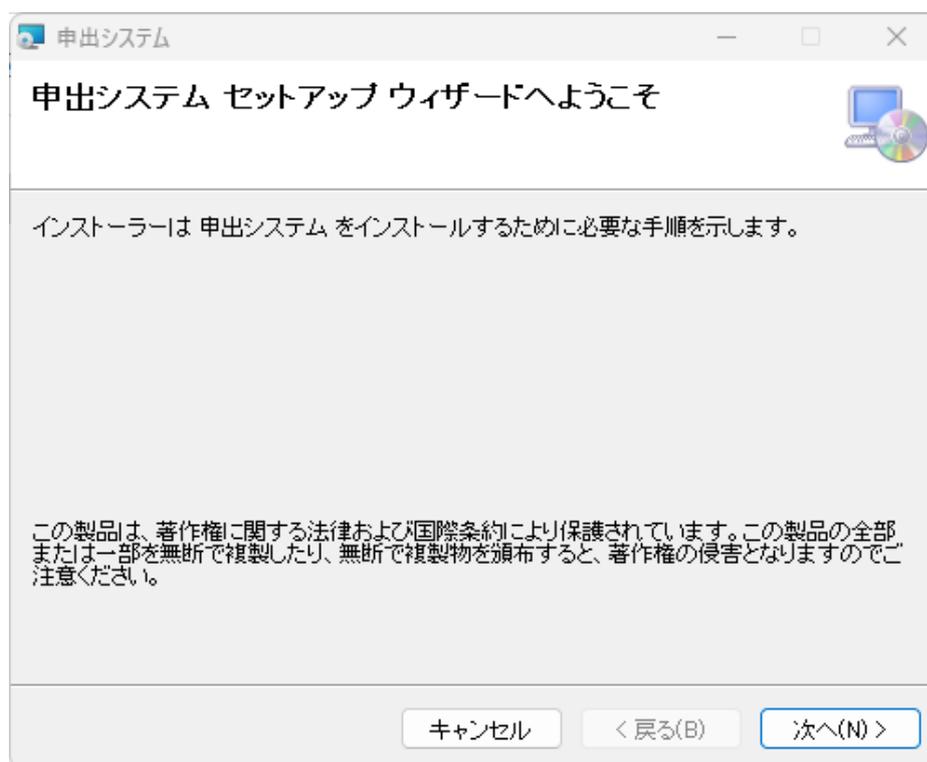
インストーラを利用される方は「[3.1 インストーラによる申出システムのインストール](#)」をご覧ください。

zip ファイルを使用される方は「[3.2 zip ファイルによる申出システムのインストール](#)」をご覧ください。

3.1 インストーラによる申出システムのインストール

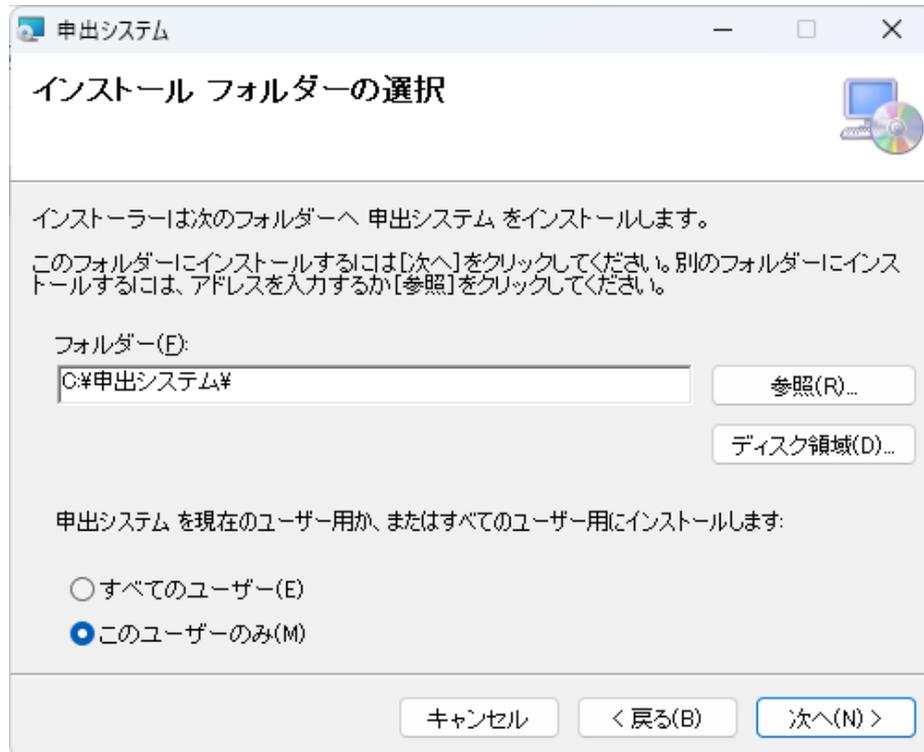
申出システム 7.03 は以下の手順でインストールします。

- ① ダウンロード手順書に従いダウンロードしたインストーラを任意のフォルダに格納してください。
- ② ダウンロードしたファイルを格納したフォルダの内容を表示し、インストーラを実行してください。
- ③ 申出システム 7.03 のセットアップ画面が表示されますので、「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。

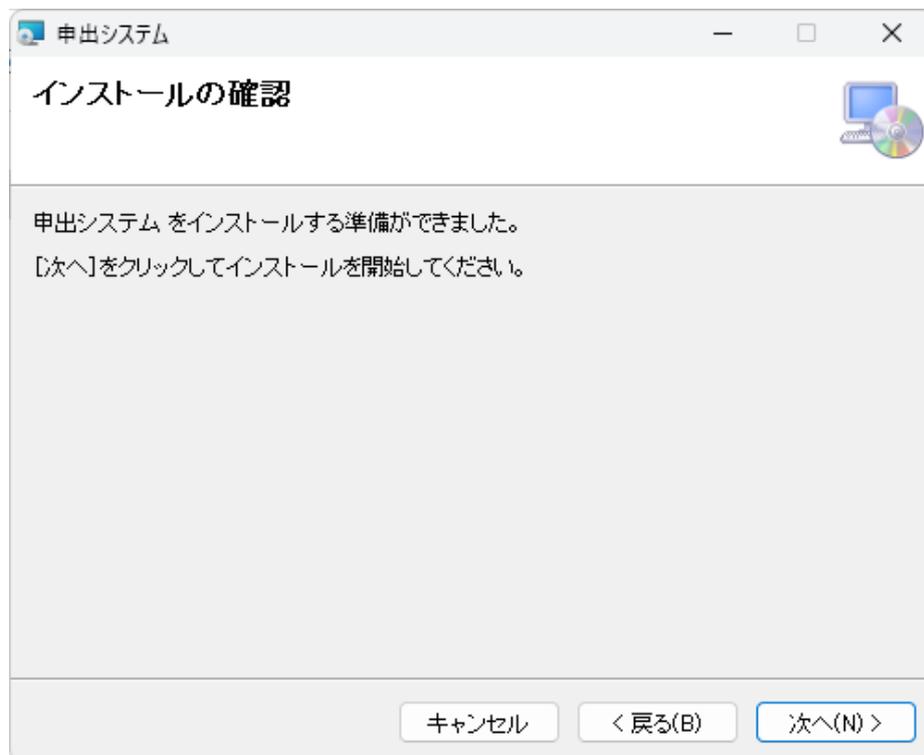


- ④ インストールするフォルダを必要に応じて設定してください。また、同じパソコンで複数のユーザが申出システム 7.03 を使用する場合、「すべてのユーザ(E)」を選択してください。設定が完了したら「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。

※旧バージョンの申出システムのインストールフォルダは指定しないでください。旧バージョンの申出システムの誤作動及びデータ消失の恐れがあります。



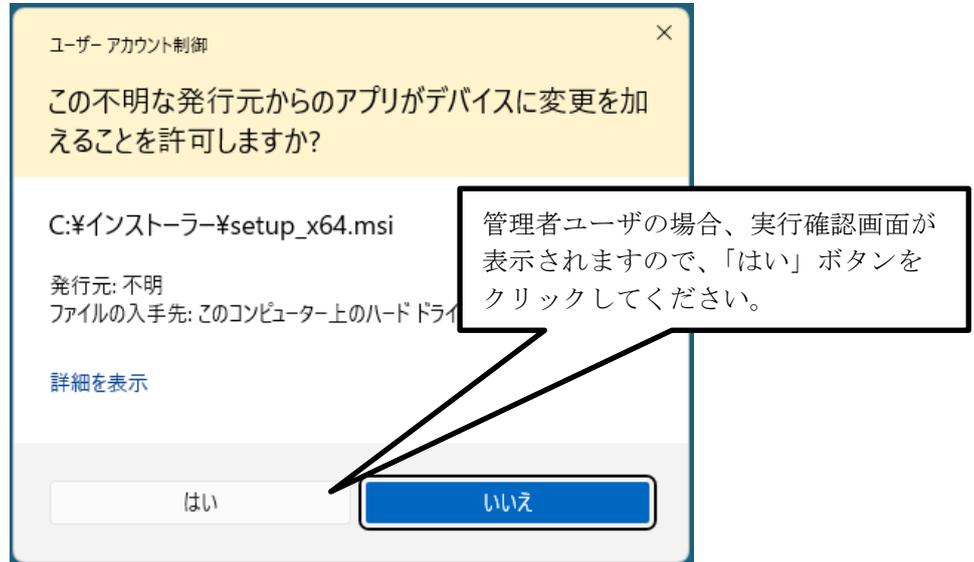
- ⑤ 以下の画面が表示されますので、「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。



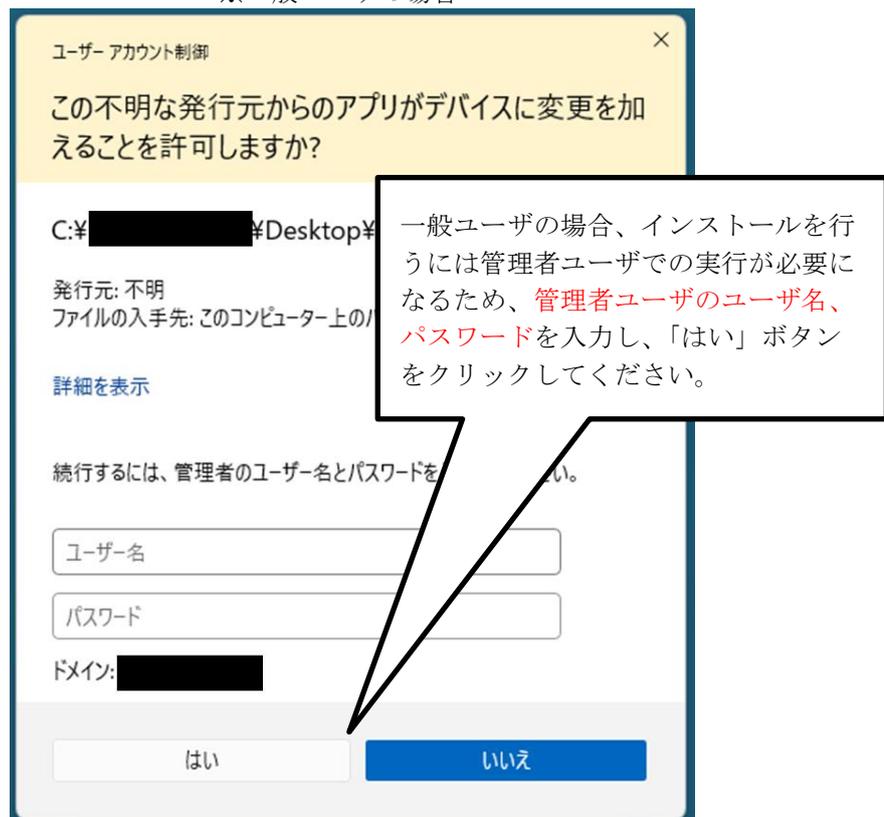
- ⑥ インストールを行っている Windows ユーザの権限によって下記図のようなユーザーアカウント制御画面がそれぞれ表示される場合があります。各画面の指示に従って操作を行い、処理を進めてください。

※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

※管理者ユーザの場合



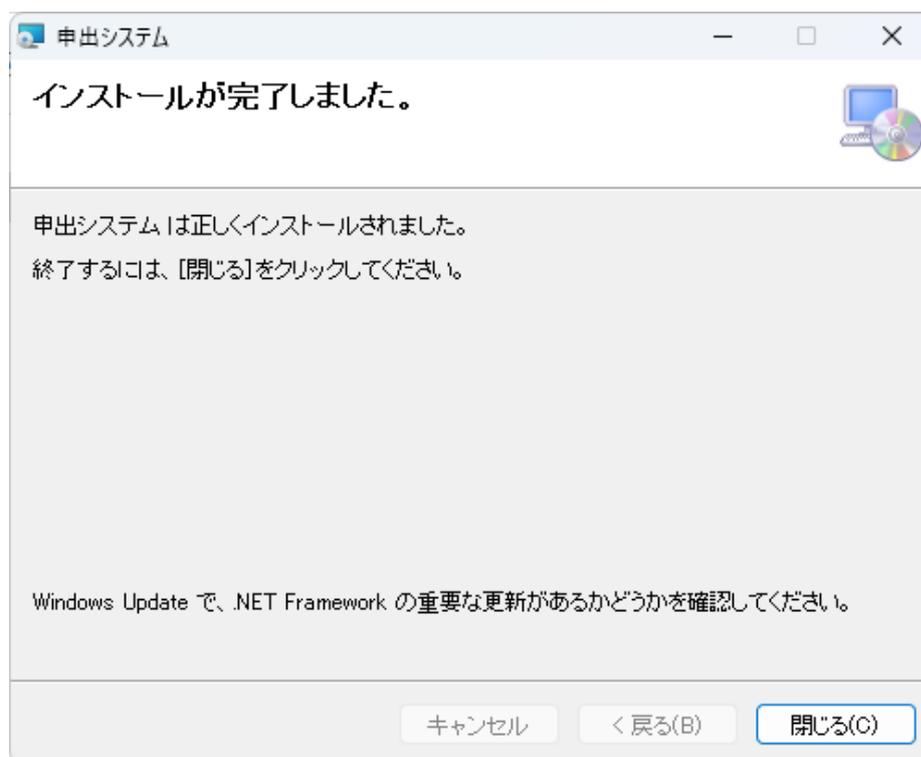
※一般ユーザの場合



⑦ インストールが完了したら、以下のメッセージボックスが表示されます。

※データベースファイル（MoushideDBv7.accdb）を共有利用しない場合は、本手順でインストール作業が完了です。⑧の起動確認に進んでください。

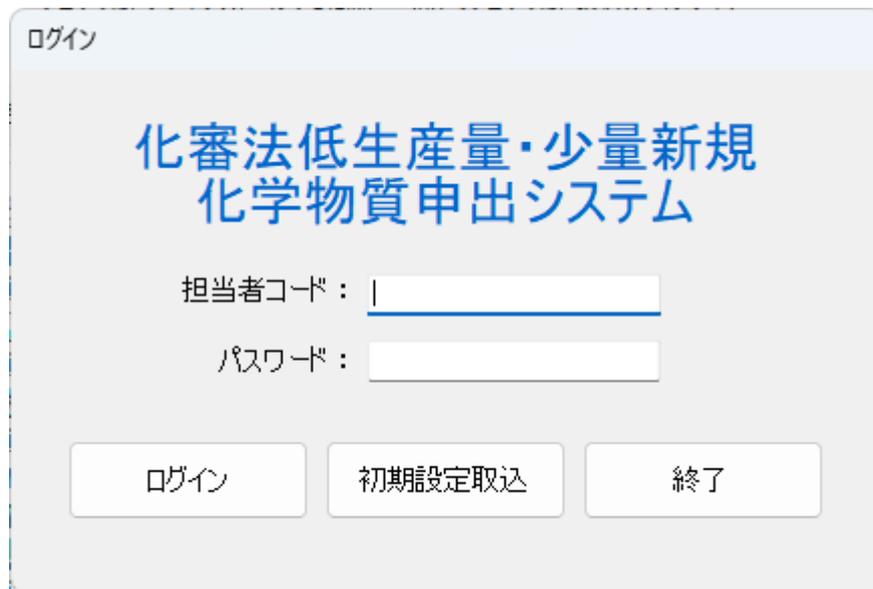
※データベースファイルを共有利用する場合は、セキュリティに係る設定、およびデータベースに係る設定も必要になります。データベースを共有については、第6章（応用）データベースの共有の方をご参照ください。



- ⑧ 申出システム 7.03 のインストールフォルダより、「OfferSystem」（拡張子を表示する設定の場合は「OfferSystem.exe」）をダブルクリックして実行すると、申出システム 7.03 を起動することができます。

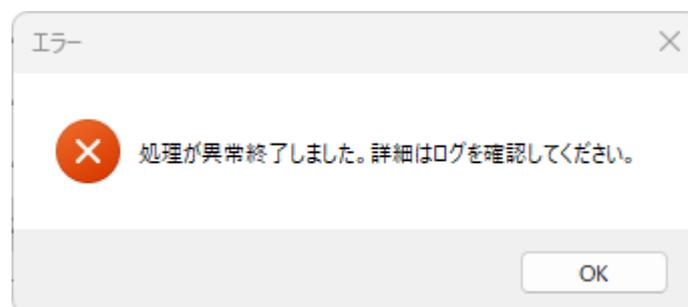
以下のログイン画面が表示されれば正常です。

なお、申出システム 7.03 をインストールするとデスクトップに「OfferSystem」というショートカットが作成されますので、ショートカットより起動することも可能です。



以下のメッセージが表示された場合、Access および Microsoft 365 Access Runtime がインストールされていない可能性があります。ログファイル(Moushide.log)をご確認ください。

インストールフォルダ（例：「C:¥申出システム」）にあるログファイル「Moushide.log」をダブルクリックで開き、「インストール手順書をご参照の上、Microsoft 365 Access Runtime をインストールしてください。」というエラーメッセージがログに出力されていた場合、Microsoft 365 Access Runtime **のインストールが必要です。「4. Microsoft 365 Access Runtime のインストール手順」に従ってインストールを実施してください。**

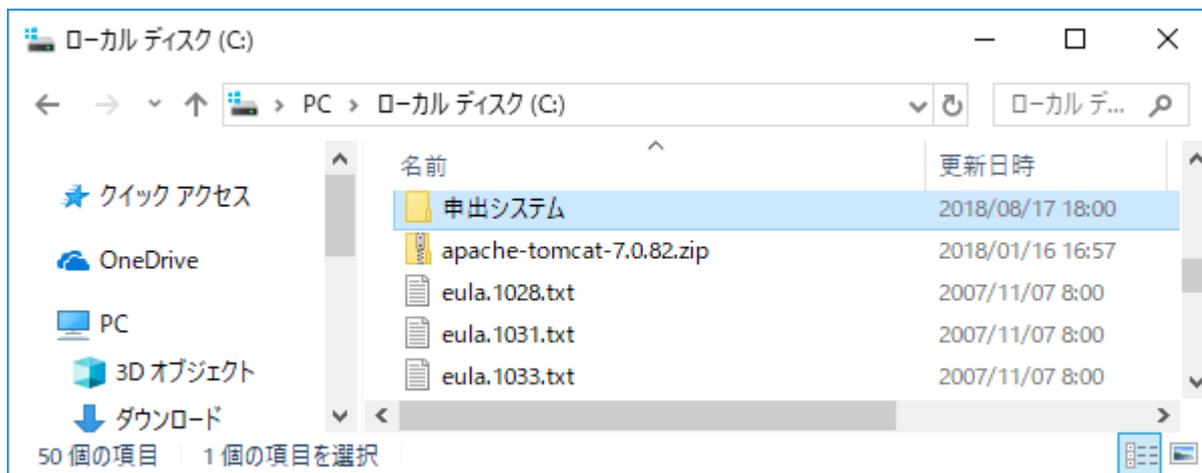


3.2 zip ファイルによる申出システムのインストール

zip ファイルを使用する場合は以下の手順でインストールします。

※zip ファイルのダウンロード手順はダウンロード手順書をご確認ください。

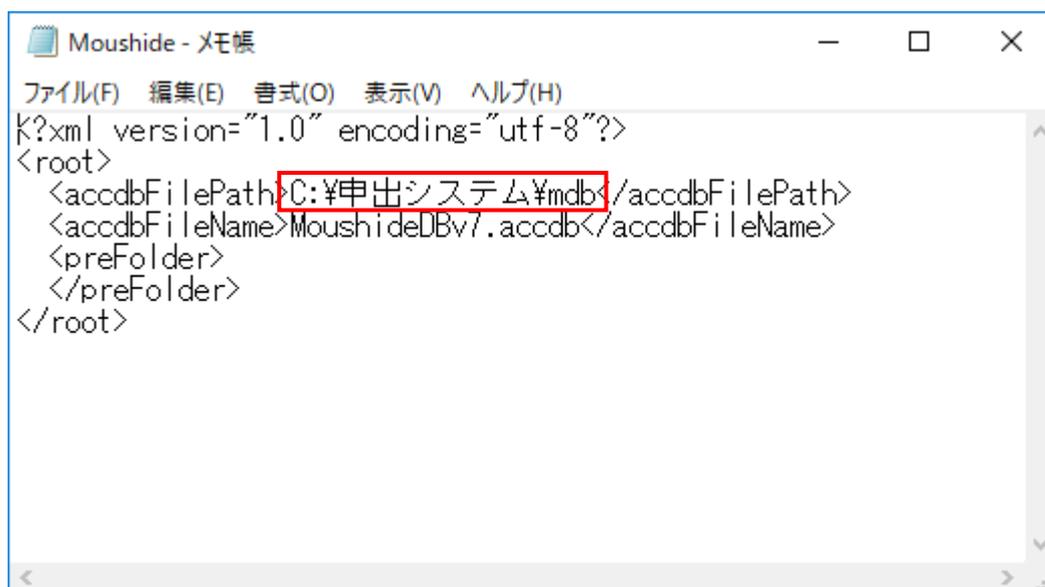
- ① インストールフォルダにダウンロードした zip ファイルを解凍してできた「申出システム」フォルダを任意の場所に移動します。ここでは C ドライブ直下に移動した場合を想定して説明します。この場合インストールフォルダは「C:¥申出システム」を指します。



- ② 「申出システム」フォルダにある設定ファイル「Moushide.ini」をダブルクリックで開き、`<accdbFilePath>~ </accdbFilePath>`の~の部分に記載の Path 情報（下記図では、3 行目）を①で配置、移動したデータベースファイル（MoushideDBv7.accdb）のあるフォルダの Path 情報に変更してください。

※データベースファイル（MoushideDBv7.accdb）を共有利用しない場合は、本手順でインストール作業が完了です。③の起動確認に進んでください。

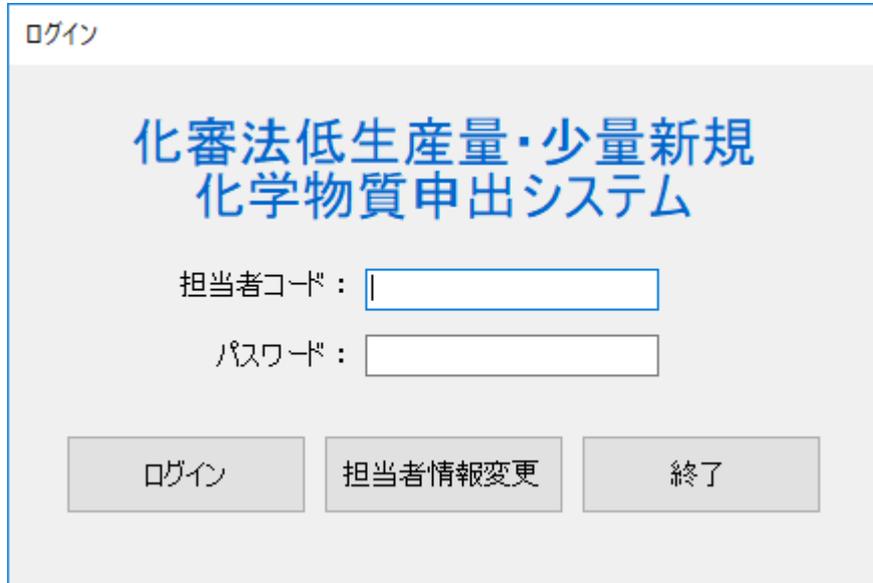
※データベースファイルを共有利用する場合は、セキュリティに係る設定、およびデータベースに係る設定も必要になります。データベースを共有については、第6章（応用）データベースの共有の方をご参照ください。



例) Moushide.ini の修正例

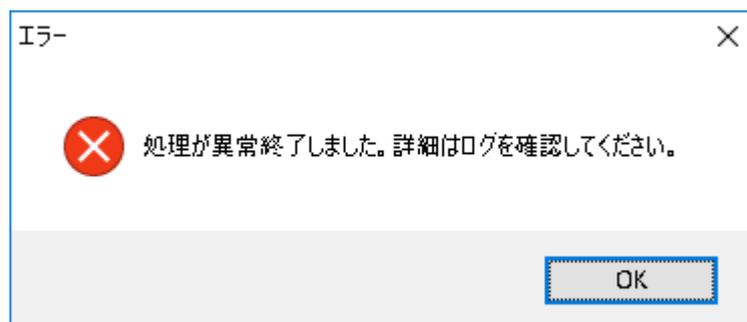
- ③ 申出システム 7.03 のインストールフォルダより、「OfferSystem」（拡張子を表示する設定の場合は「OfferSystem.exe」）をダブルクリックして実行すると、申出システム 7.03 を起動することができます。

以下のログイン画面が表示されれば正常です。



以下のメッセージが表示された場合、Access および Microsoft 365 Access Runtime がインストールされていない可能性があります。ログファイル(Moushide.log)をご確認ください。

インストールフォルダ（例：「C:¥申出システム」）にあるログファイル「Moushide.log」をダブルクリックで開き、「インストール手順書をご参照の上、Microsoft 365 Access Runtime をインストールしてください。」というエラーメッセージがログに出力されていた場合、**Microsoft 365 Access Runtime のインストールが必要です。「4. Microsoft 365 Access Runtime のインストール手順」に従ってインストールを実施してください。**



4 Access Runtime のインストール手順

本章では、申出システム 7.03 の動作に必要な Microsoft 365 Access Runtime のインストール手順について説明します。

なお、以前申出システムを利用する用途のみで AccessDatabaseEngine がインストールされているパソコンについては、2025 年 10 月で AccessDatabaseEngine のサポートが終了となりましたので、Microsoft 365 Access Runtime をインストールしたのち、AccessDatabaseEngine をアンインストールしてください。

具体的には、「4.1 Microsoft 365 Access Runtime をインストールする」に従ってインストールを実施したのち、「4.2 AccessDatabaseEngine をアンインストールする」に従ってアンインストールを実施してください。

※Microsoft 365 Access Runtime は無償で利用できます。

※Microsoft 365 Access Runtime のインストール状況や他業務での使用状況により置き換えを行ってよいかどうかの判断がつかない場合は、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

4.1 Microsoft 365 Access Runtime をインストールする

AccessDatabaseEngine がインストールされている場合、下記手順に従い、Microsoft 365 Access Runtime をインストールしてください。その後、「4.2 AccessDatabaseEngine をアンインストールする」を実行ください。

また、Microsoft 365 Access Runtime がインストールされていないことが判明した場合も、下記手順に従い、Microsoft 365 Access Runtime をインストールしてください。

外部ネットワークへ接続可能な環境にインストールする場合には「[4.1.1 外部ネットワークへ接続可能な環境にインストールする](#)」をご確認ください。

ネットワークに接続されていない、または外部ネットワークへの接続が制限されている環境にインストールする場合には、「[4.1.2 外部ネットワークへ接続できない環境にインストールする](#)」をご確認ください。

4.1.1 外部ネットワークへ接続可能な環境にインストールする

外部ネットワークへ接続可能な環境にインストールする場合、下記手順に従い、Microsoft 365 Access Runtime をインストールしてください。

- ① 下記サイトに接続し、「必要な言語」に「日本語」を選択してください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/office/microsoft-365-access-runtime-をダウンロードしてインストールする-185c5a32-8ba9-491e-ac76-91cbe3ea09c9>



- ② インストールされている Office のビット数が 32bit の場合は「32 ビットのダウンロード」を、64bit の場合は「64 ビットのダウンロード」を右クリックしてください。「名前を付けてリンクを保存」をクリックし、任意のフォルダに保存してください。

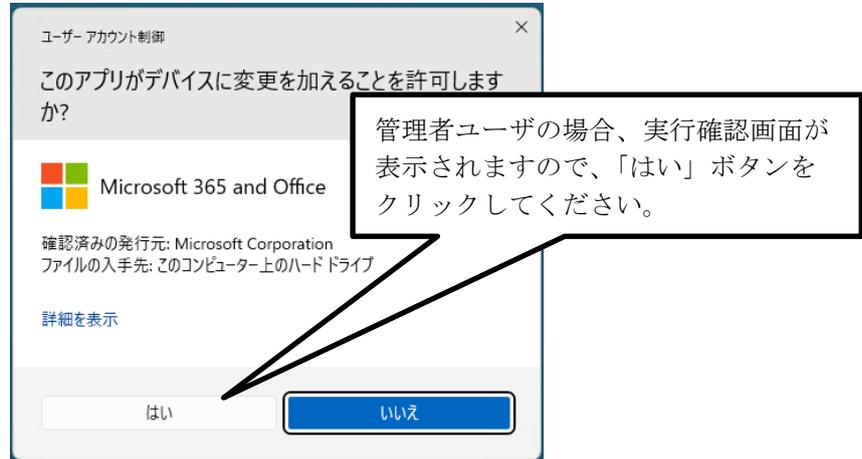


③ インストール前に他の Microsoft 製品 (Word, Outlook 等) を開いている場合は閉じてください。

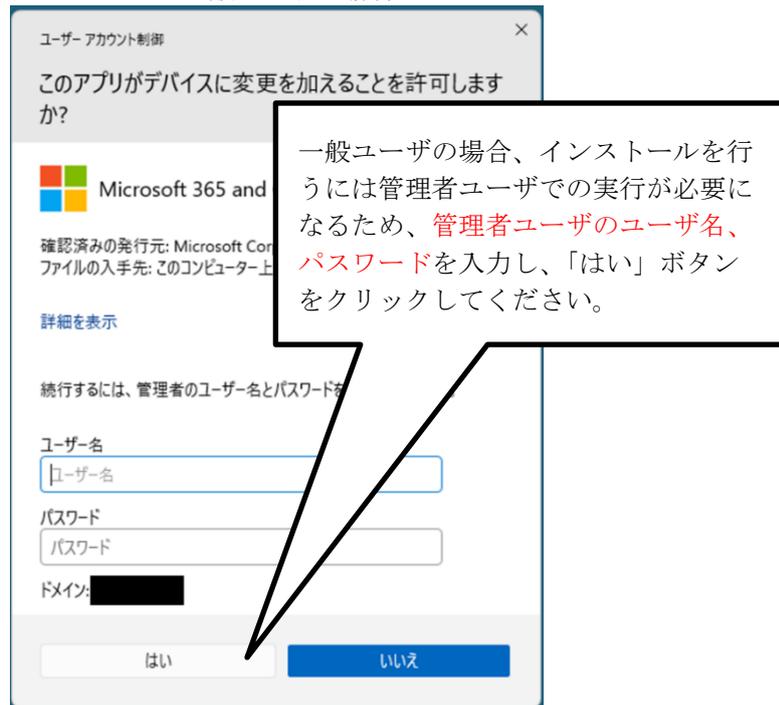
②で保存した「OfficeSetup.exe」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックしてください。インストールを行っている Windows ユーザの権限によって下記図のようなユーザーアカウント制御画面がそれぞれ表示される場合があります。各画面の指示に従って操作を行い、処理を進めてください。

※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

※管理者ユーザの場合

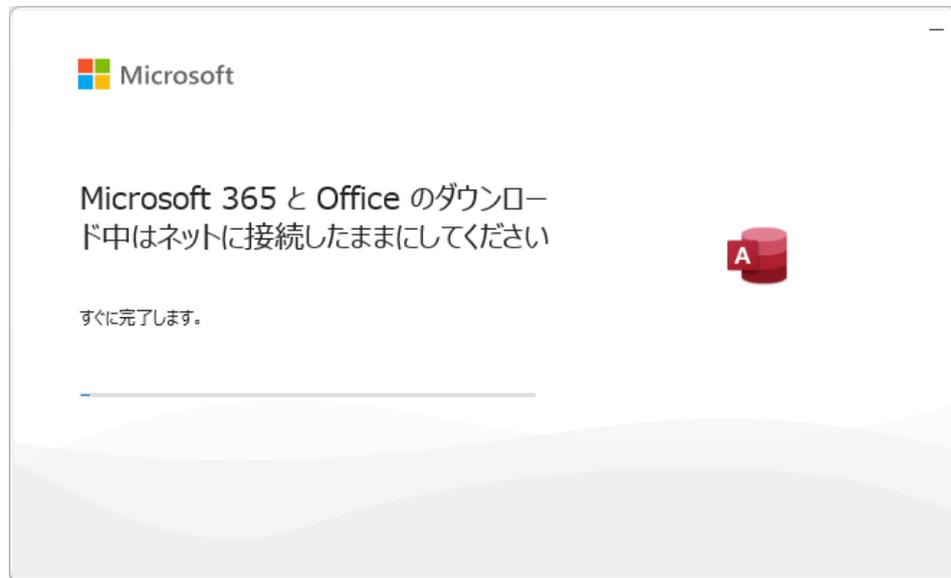


※一般ユーザの場合

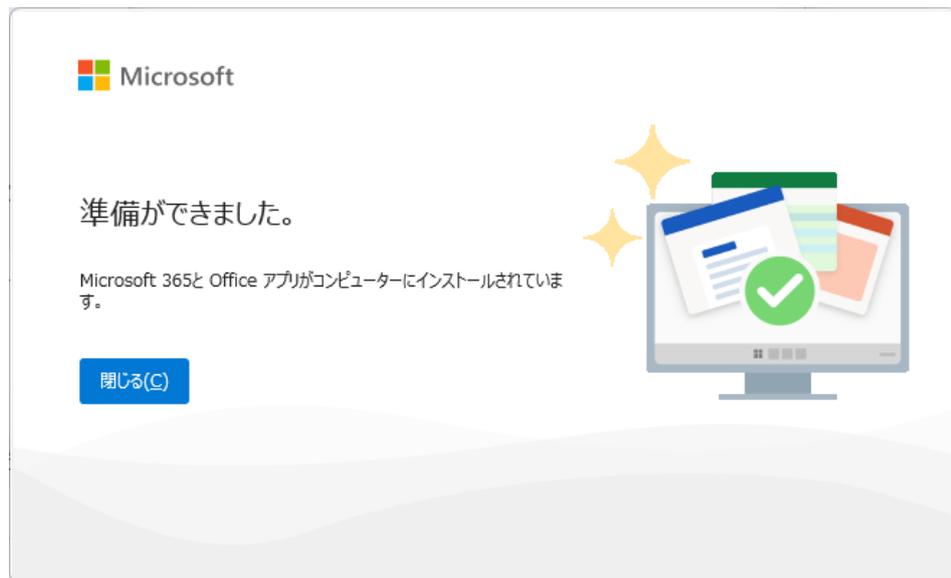


- ④ しばらくすると Microsoft のダウンロード、インストール画面が表示されますので、インストールが完了するまでお待ちください。

※パソコンのスペック、ネットワーク環境によってインストールに時間がかかる場合がございます。



- ⑤ インストール完了画面が表示されたら「閉じる(C)」ボタンをクリックしてください。



4.1.2 外部ネットワークへ接続できない環境にインストールする

ネットワークに接続されていない、または外部ネットワークへの接続が制限されている環境でインストールを実施する場合は以下の手順で実施ください。

※インストールに必要な資材をダウンロードするため、外部ネットワークへ接続可能な環境が別途必要となります。

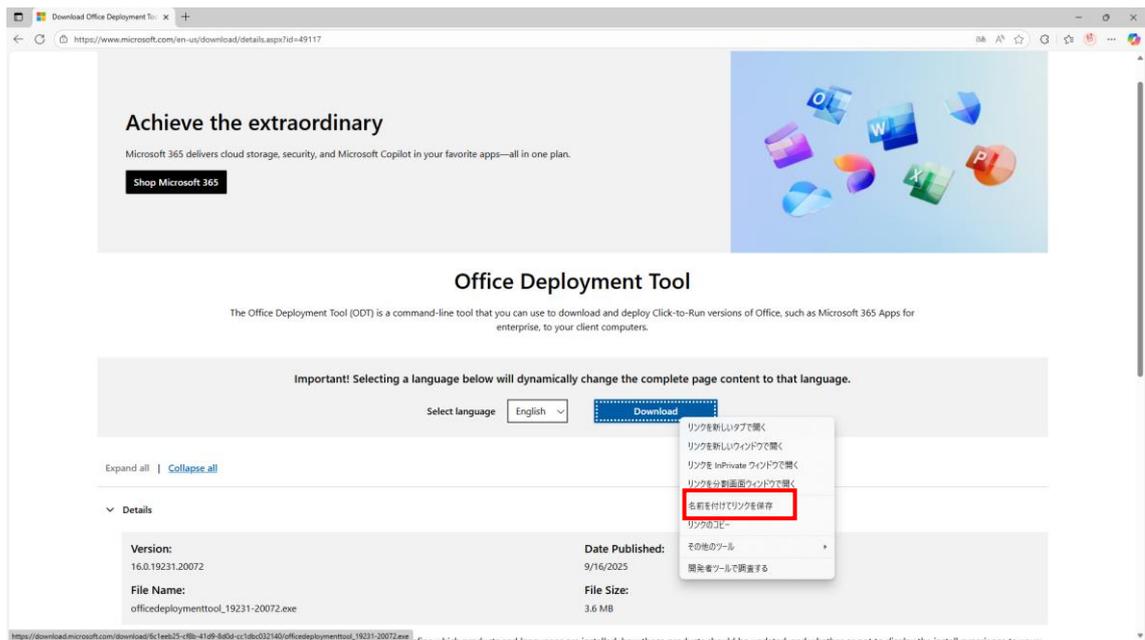
※インストーラ資材は最大 3.5GB 程になるので、十分容量を確保した状態で手順を実施ください。

なお、以下の手順は外部ネットワークへ接続可能な環境でも実施可能です。

I. 外部ネットワークへ接続可能な環境での操作

- ① インストールに必要な資材を配置するため、任意のフォルダを作成してください。例として本書では「C:\work\office」を作成いたします。
- ② 下記サイトに接続し、「Download」を右クリックし、「名前を付けてリンクを保存」をクリックし、①で作成したフォルダに保存してください

<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=49117>

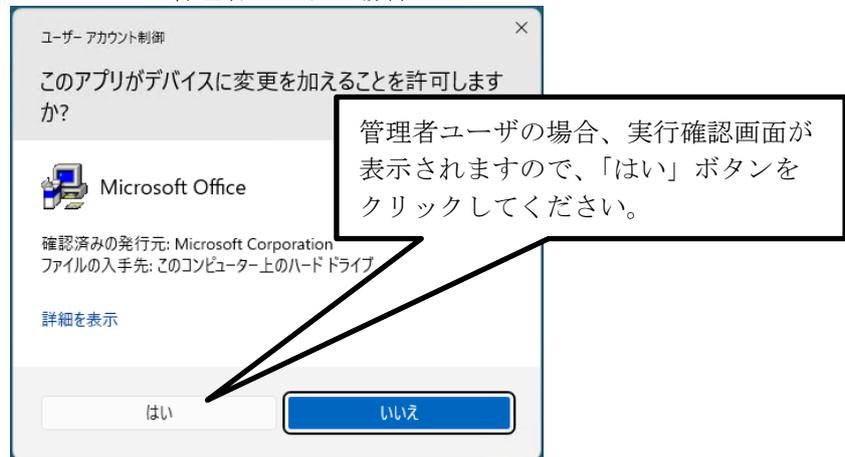


- ③ ②で保存した「officedeploymenttool_XXXXX-XXXXX.exe (XXXXX にはバージョン情報が入ります)」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックしてください。

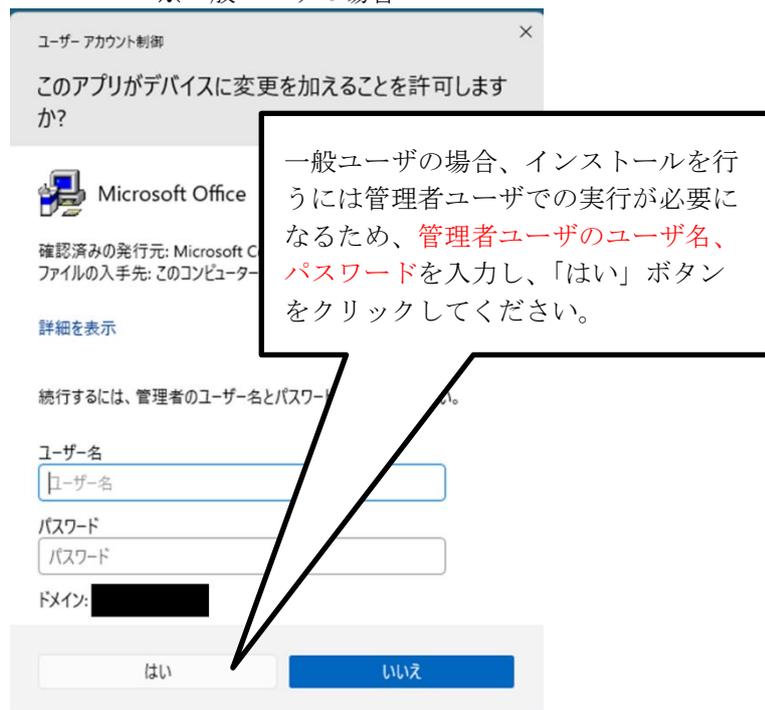
インストールを行っている Windows ユーザの権限によって下記図のようなユーザーアカウント制御画面がそれぞれ表示される場合があります。各画面の指示に従って操作を行い、処理を進めてください。

※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

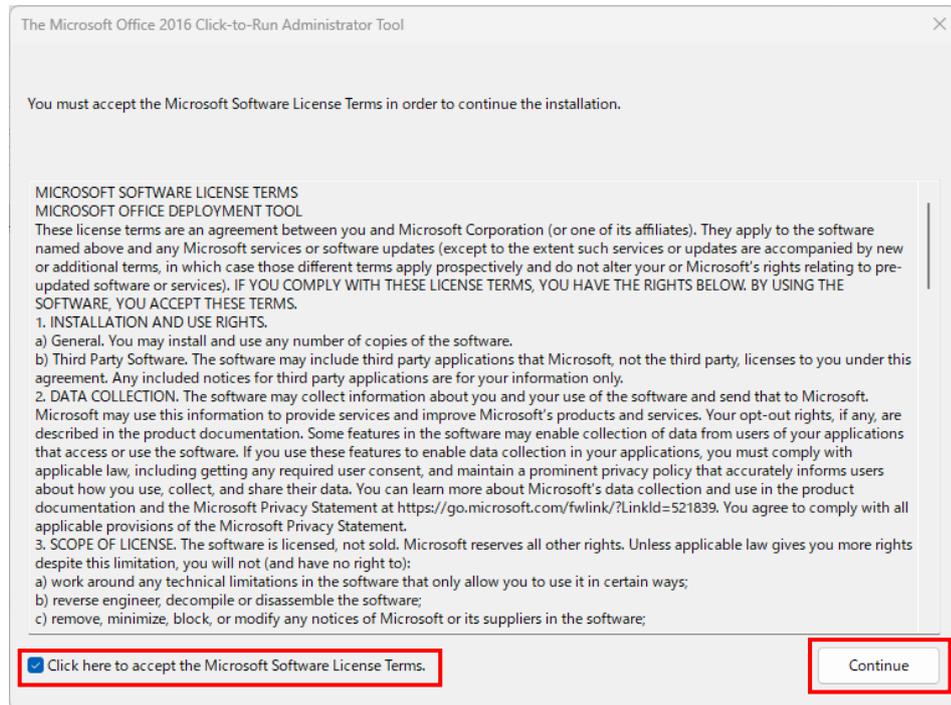
※管理者ユーザの場合



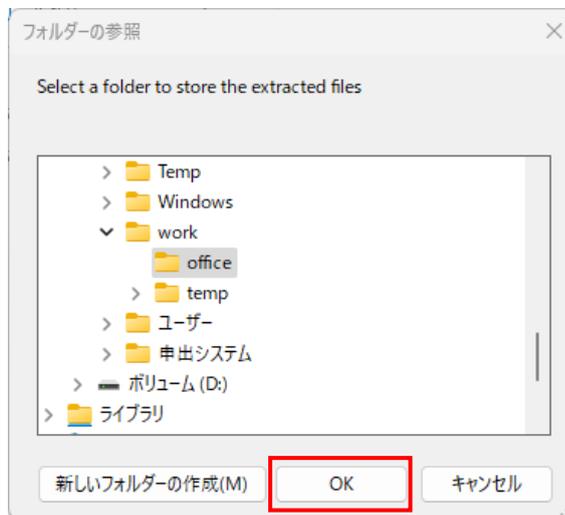
※一般ユーザの場合



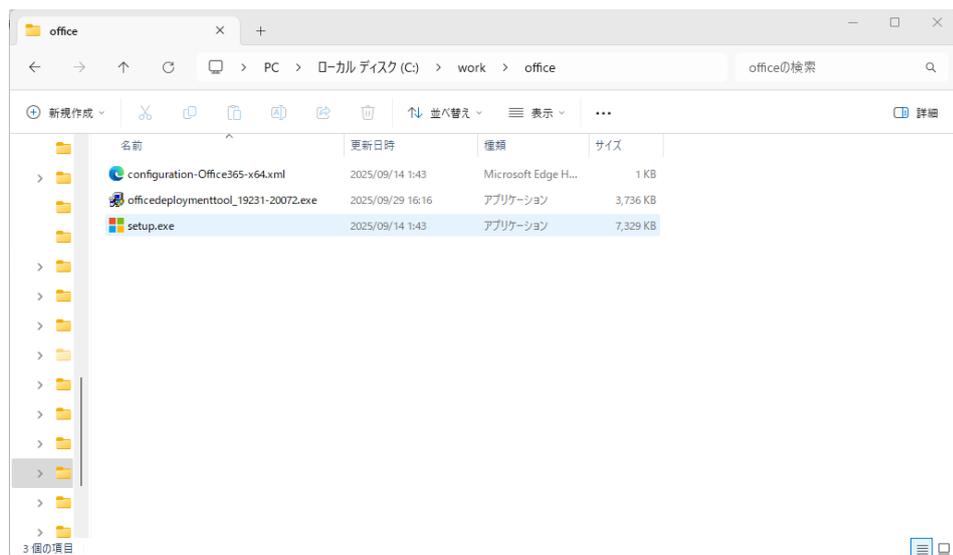
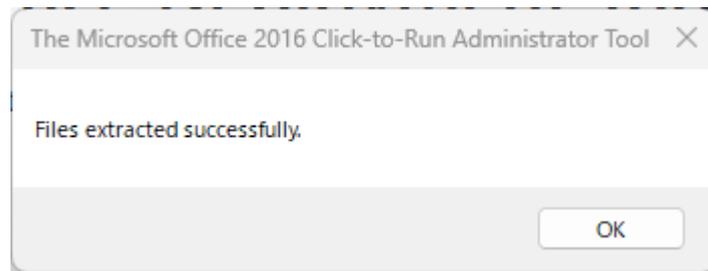
- ④ 画面が表示されますので、「Click here to accept the Microsoft Software License Terms.」にチェックを入れ、Continue ボタンをクリックしてください。



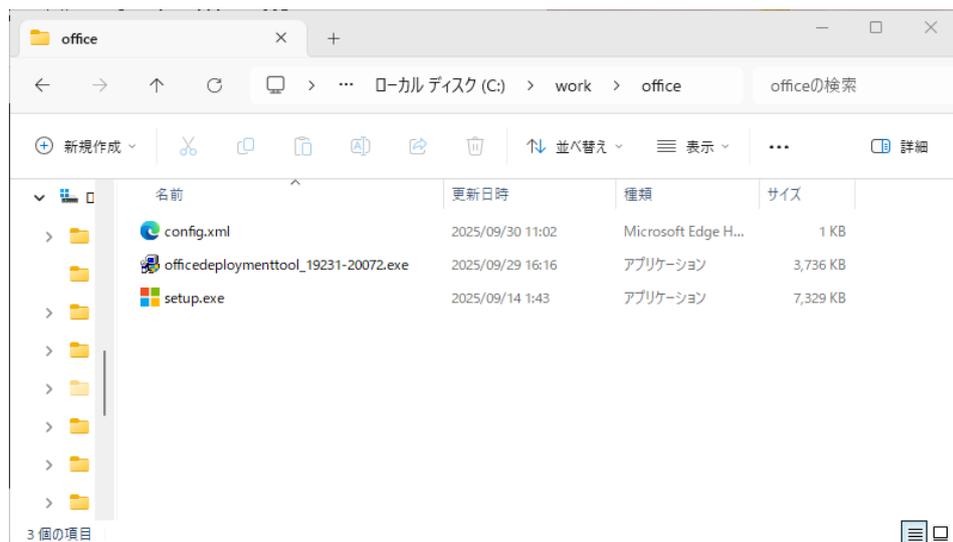
- ⑤ フォルダ選択ダイアログが表示されますので、①で作成したフォルダを選択して OK ボタンをクリックしてください。



- ⑥ インストール完了画面が表示されたら OK ボタンをクリックして閉じてください。①で作成したフォルダ配下に「setup.exe」と「configuration-Office365-x64.xml」が配置されている事を確認してください。



- ⑦ 「configuration-Office365-x64.xml」のファイル名を「config.xml」に変更してください。



- ⑧ 「config.xml」をメモ帳などのテキストエディタで開いてください。

以下のテキストを「Ctrl + C」でコピーし、テキストエディタ上で「Ctrl + A」で全文を選択した上で、「Ctrl + V」で貼り付けしてください。

なお、張り付けるテキストは**インストール先の環境の Office の bit 数**から選択してください。また、赤字の部分は①で作成したフォルダのパスとなりますので、テキストエディタに貼り付け後、適切なフォルダパスに修正してください。(本書では「C:\work\office」としています。)

※Office が 64bit の場合

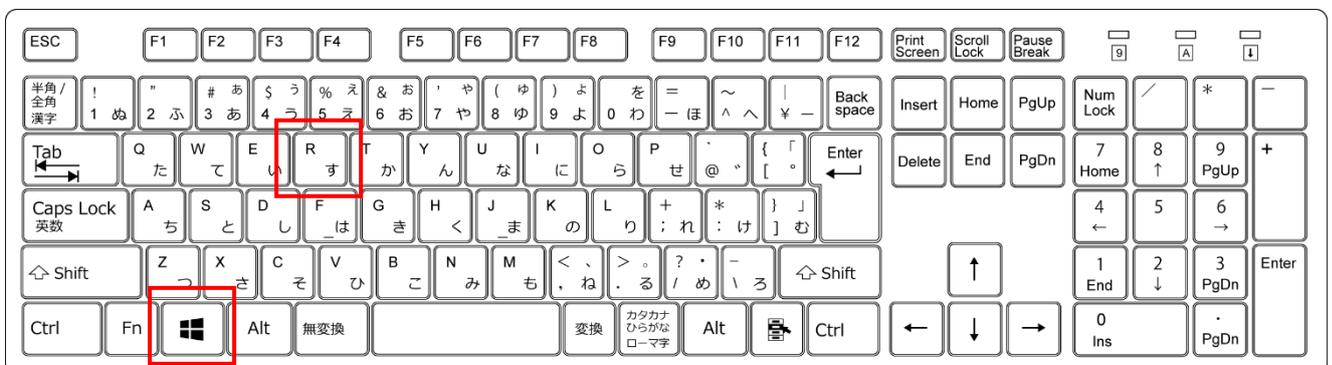
```
<Configuration>
  <Add SourcePath="C:\work\office\AccessRuntime" OfficeClientEdition="64" Channel="Current">
    <Product ID="AccessRuntimeRetail">
      <Language ID="ja-jp" />
    </Product>
  </Add>
  <Display Level="None" AcceptEULA="TRUE" />
</Configuration>
```

※Office が 32bit の場合

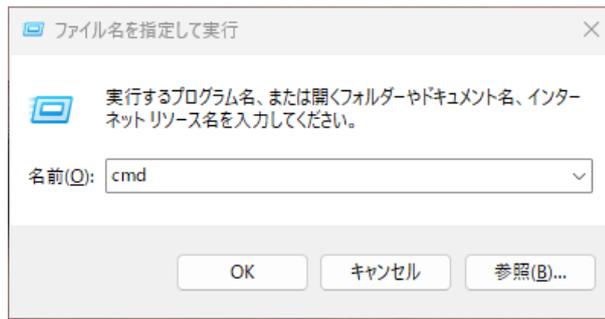
```
<Configuration>
  <Add SourcePath="C:\work\office\AccessRuntime" OfficeClientEdition="32" Channel="Current">
    <Product ID="AccessRuntimeRetail">
      <Language ID="ja-jp" />
    </Product>
  </Add>
  <Display Level="None" AcceptEULA="TRUE" />
</Configuration>
```

テキストの貼り付け、修正が完了しましたら、「Ctrl + S」、または上書き保存を実施してテキストエディタを閉じてください。

- ⑨ Windows キーを押しながら R キーを押します。

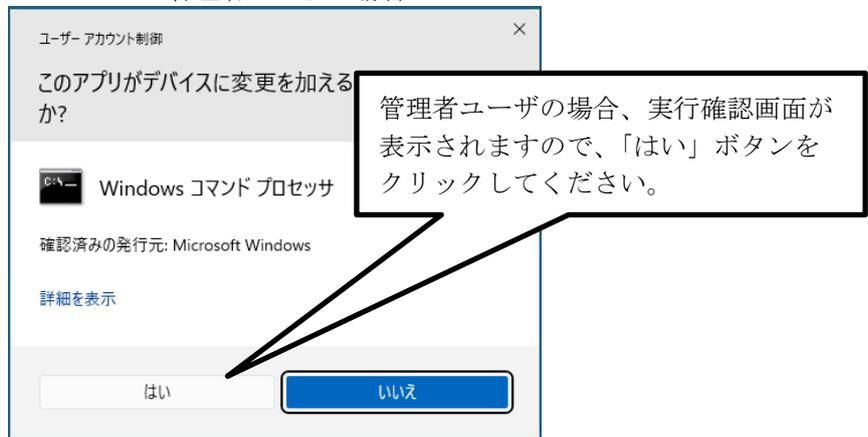


⑩ 「cmd」を入力し、「Ctrl + shift + Enter」キーを押します。

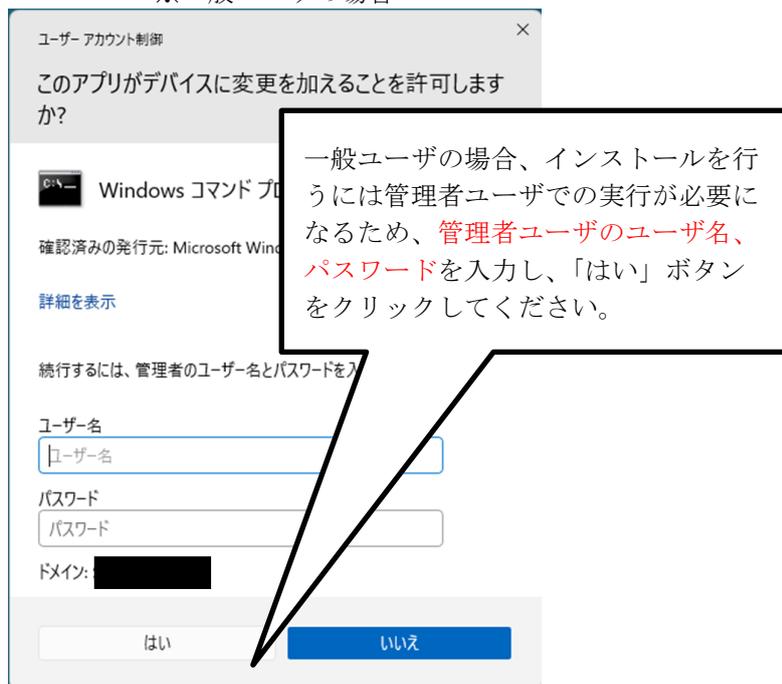


インストールを行っている Windows ユーザの権限によって下記図のようなユーザーアカウント制御画面がそれぞれ表示される場合があります。各画面の指示に従って操作を行い、処理を進めてください。
※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

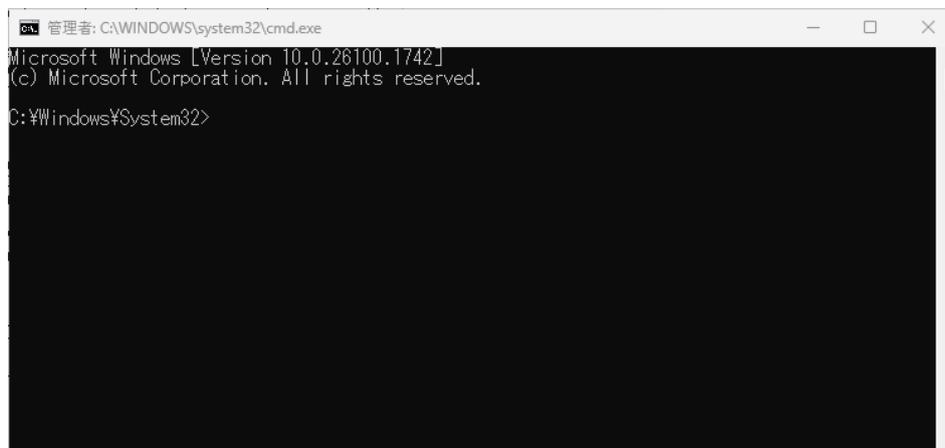
※管理者ユーザの場合



※一般ユーザの場合



- ⑪ 次の画面（以下コマンドプロンプト）が表示され、左上に管理者と表記されている事を確認してください。

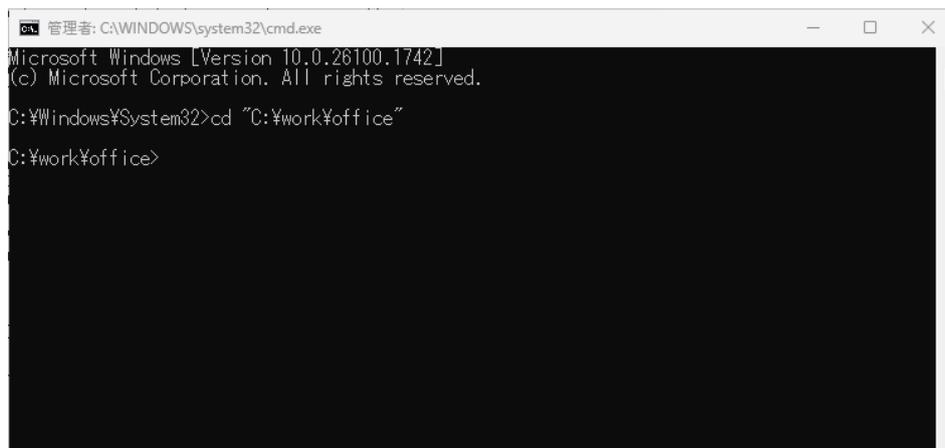


```
管理者: C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.1742]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\WINDOWS\system32>
```

- ⑫ コマンドプロンプトに「cd “①で作成したフォルダのパス” ※」と入力し、Enter キーを押下してください。※本書の場合は「cd “C:\work\office”」となります。

コマンドプロンプト上の次の入力欄の左側が①で作成したフォルダのパスとなっている事を確認してください。

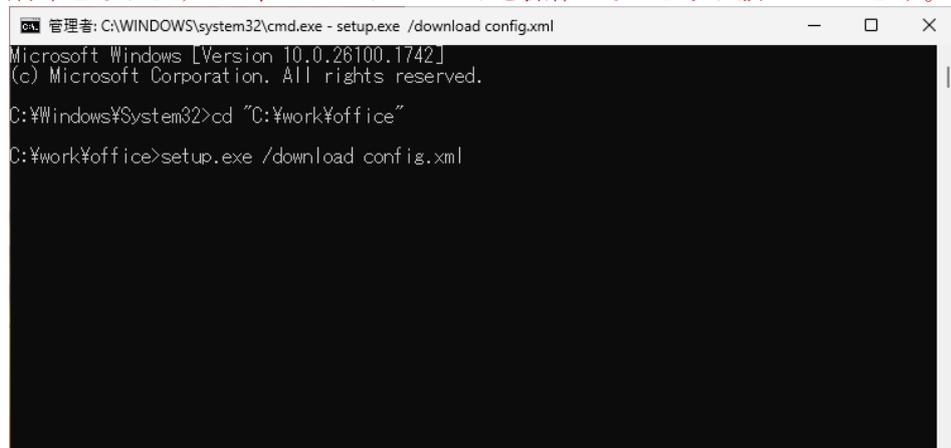


```
管理者: C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.1742]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\WINDOWS\system32>cd "C:\work\office"
C:\work\office>
```

- ⑬ コマンドプロンプトに「setup.exe /download config.xml」と入力し、Enter キーを押下してください。インストールに必要な資材一式のダウンロードが開始されます。

※パソコンのスペック、ネットワーク状況によっては処理に時間がかかります。次の行が表示されるまでは処理が実行中となりますので、コマンドプロンプトを操作しないようお願いいたします。

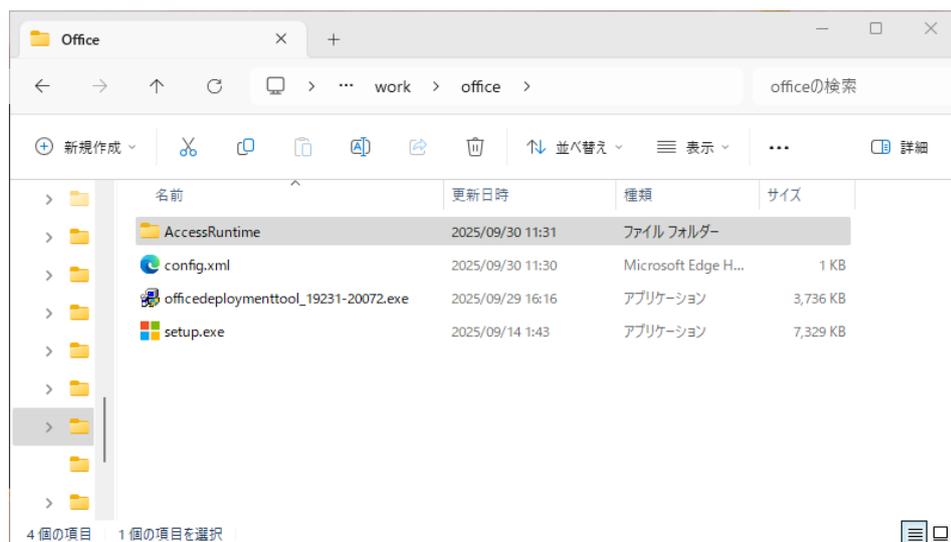


```
管理: C:\WINDOWS\system32\cmd.exe - setup.exe /download config.xml
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.1742]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\System32>cd "C:\work\office"

C:\work\office>setup.exe /download config.xml
```

- ⑭ コマンドプロンプトに次の行が表示されましたら処理が完了となります。①で作成したフォルダ配下に「AccessRuntime」というフォルダが作成されている事を確認してください。



- ⑮ 「AccessRuntime フォルダ」、「config.xml」、「setup.exe」をUSB やCD などの記憶媒体、または社内の共有サーバ等にコピーしてください。

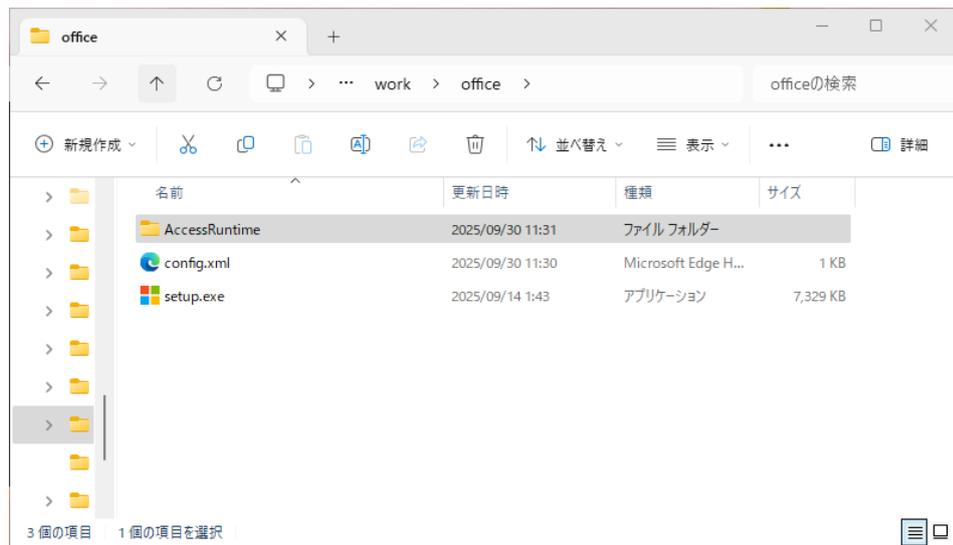
以上でこの環境での操作は終了となります。

II. インストール対象の環境での操作

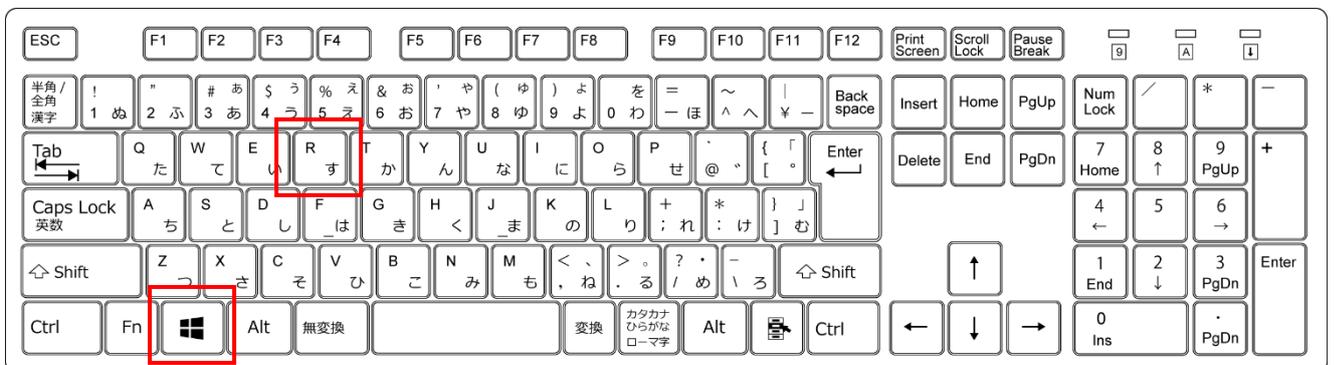
① Iの①で作成したフォルダと同様のフォルダを作成してください。

※ドライブの構成等で同じパスのフォルダが作成できない場合、②で資材を配置後「config.xml」のフォルダパスを修正してください。修正方法はIの⑧を参照ください。

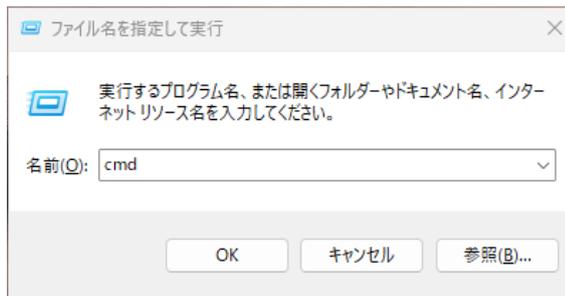
② ①で作成したフォルダにIの⑮でコピーしたフォルダ、ファイルを全て配置してください。



③ Windows キーを押しながら R キーを押します。

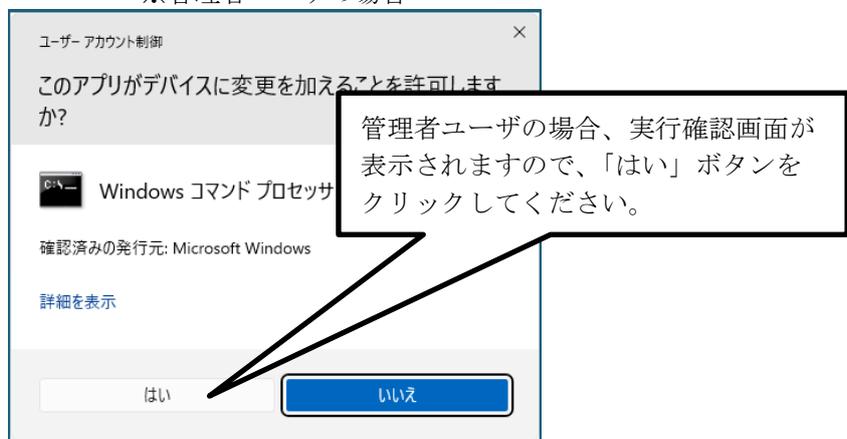


- ④ 「cmd」を入力し、「Ctrl + shift + Enter」キーを押します。

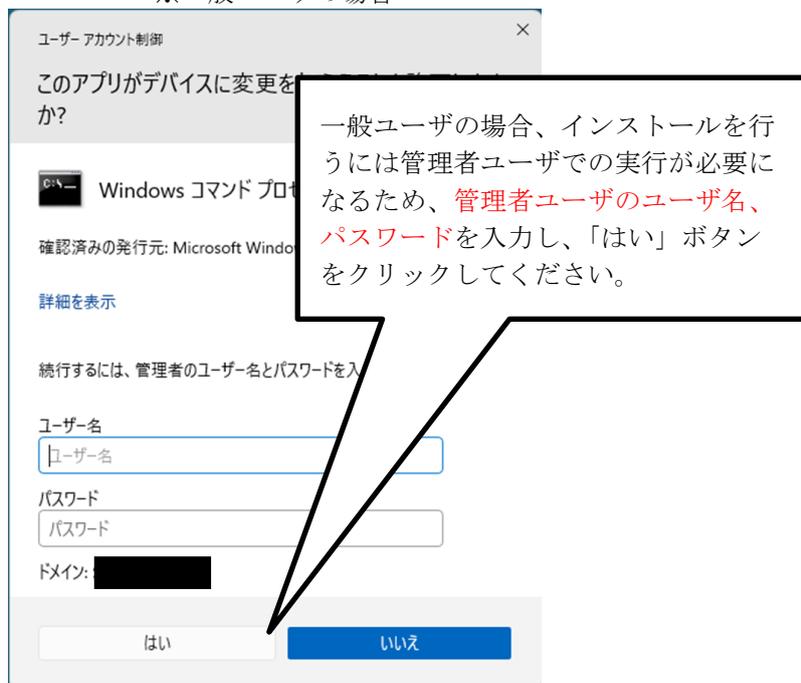


インストールを行っている Windows ユーザの権限によって下記図のようなユーザーアカウント制御画面がそれぞれ表示される場合があります。各画面の指示に従って操作を行い、処理を進めてください。
※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

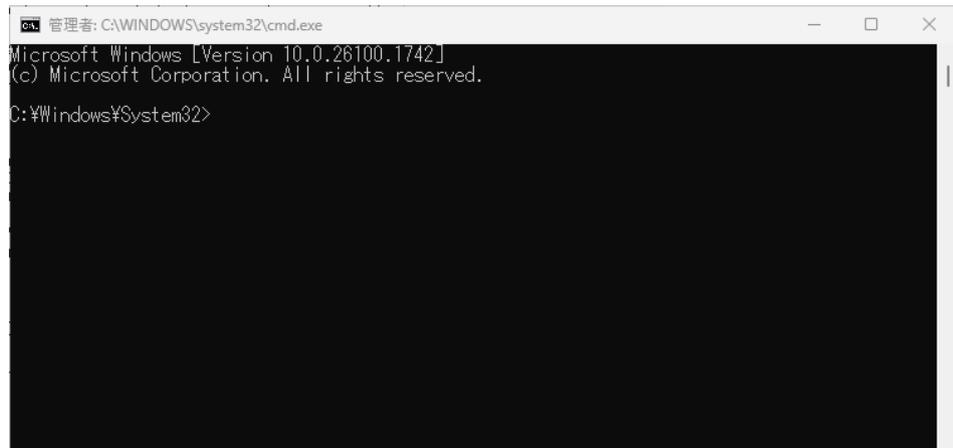
※管理者ユーザの場合



※一般ユーザの場合



- ⑤ 次の画面（以下コマンドプロンプト）が表示され、左上に管理者と表記されている事を確認してください。

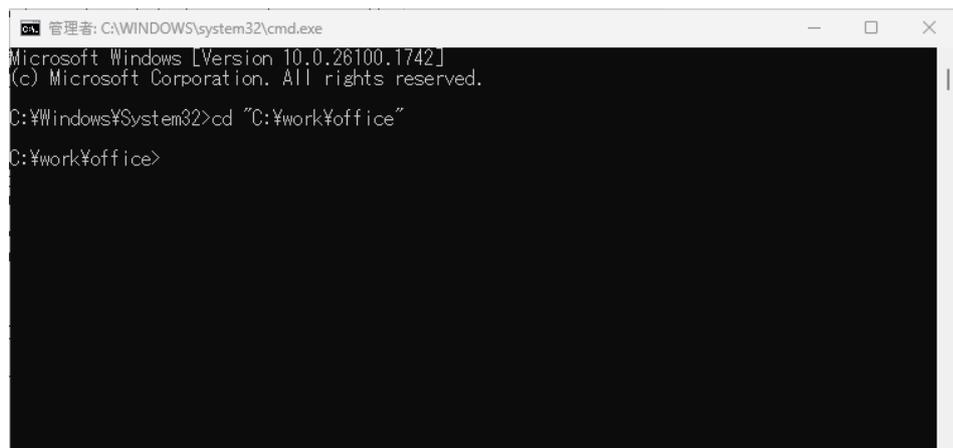


```
管理者: C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.1742]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\WINDOWS\system32>
```

- ⑥ コマンドプロンプトに「cd “①で作成したフォルダのパス” ※」と入力し、Enter キーを押下してください。※本書の場合は「cd “C:\work\office”」となります。

コマンドプロンプト上の次の入力欄の左側が①で作成したフォルダのパスとなっている事を確認してください。

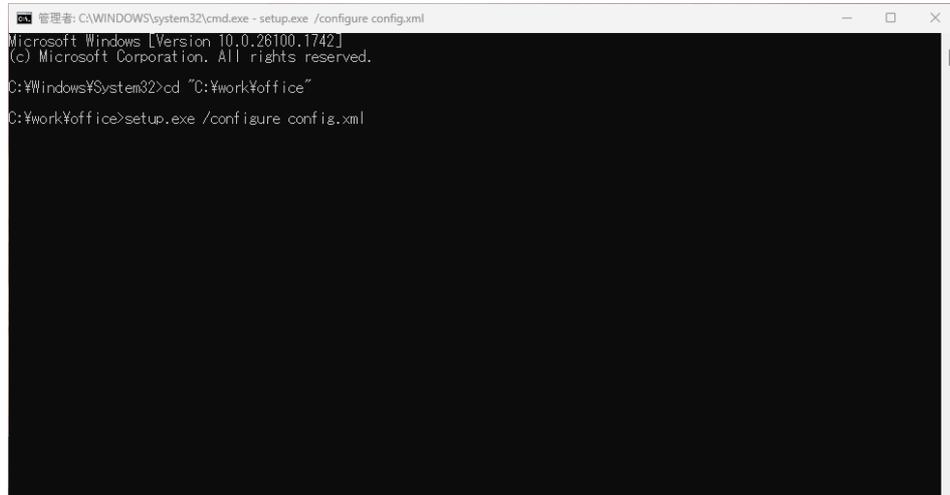


```
管理者: C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.1742]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\WINDOWS\system32>cd "C:\work\office"
C:\work\office>
```

- ⑦ コマンドプロンプトに「setup.exe /configure config.xml」と入力し、Enter キーを押下してください。Microsoft 365 Access Runtime のインストールが開始されますので、完了までお待ちください。

※パソコンのスペック、ネットワーク状況によっては処理に時間がかかります。次の行が表示されるまでは処理が実行中となりますので、コマンドプロンプトを操作しないようお願いいたします。

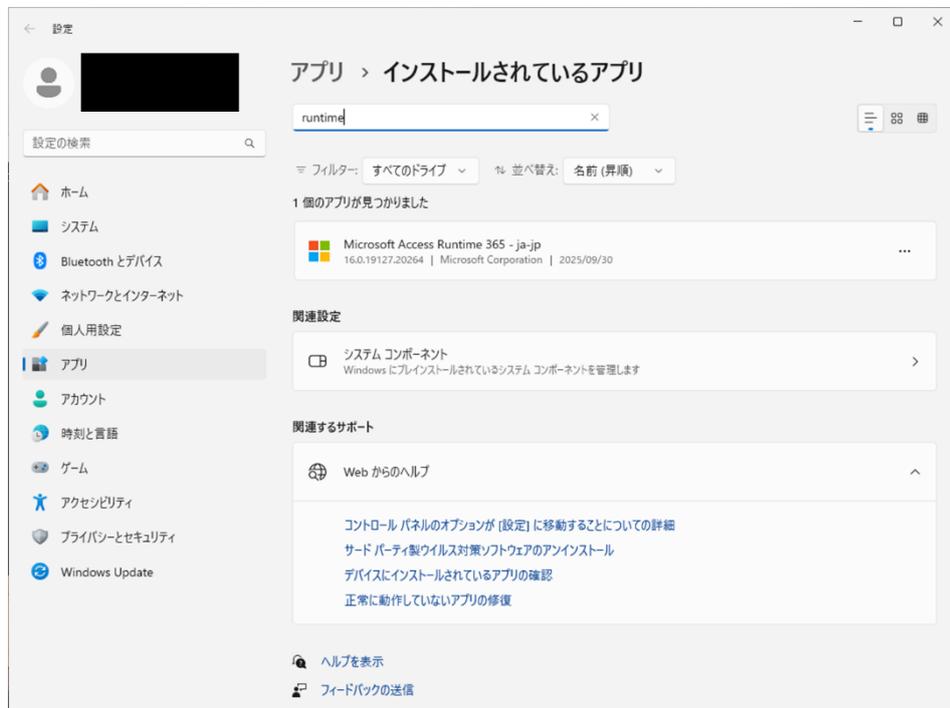


```
管理者: C:\WINDOWS\system32\cmd.exe - setup.exe /configure config.xml
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.1742]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\System32>cd "C:\work\office"
C:\work\office>setup.exe /configure config.xml
```

- ⑧ コマンドプロンプトに次の行が表示されましたら処理が完了となります。「インストールされているアプリ※」の一覧に「Microsoft Access Runtime 365 - ja-jp」が表示されていればインストール完了となります。

※タスクバーの Windows アイコンを右クリック⇒「インストールされているアプリ」をクリックすると画面が表示されます。

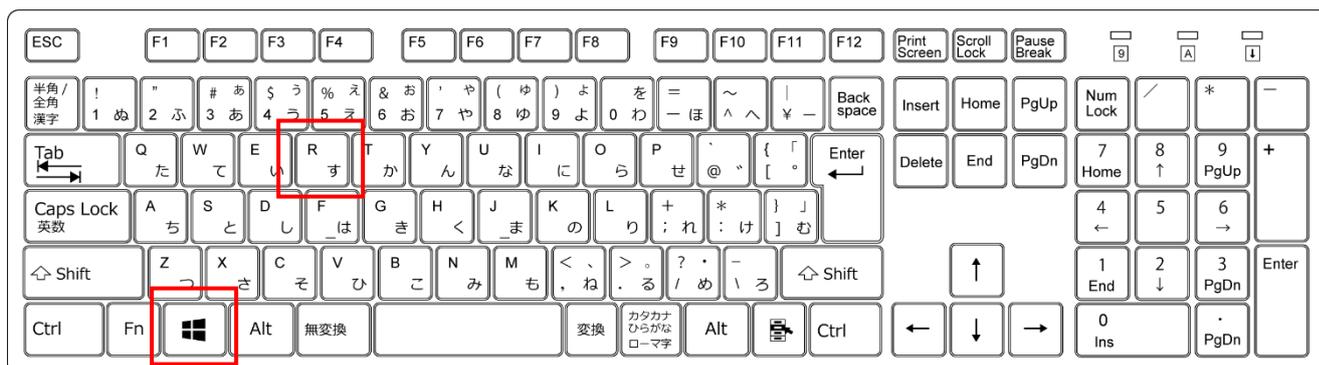


4.2 AccessDatabaseEngine をアンインストールする

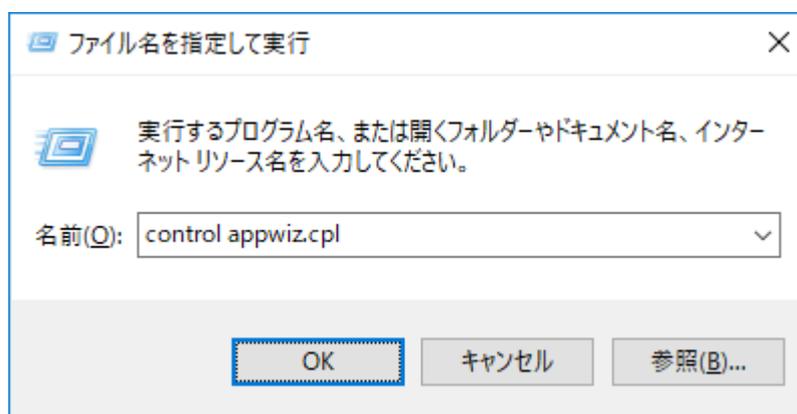
AccessDatabaseEngine のアンインストールする方法につきましては、以下の手順で実施ください。

※下記手順では AccessDatabaseEngine 2016 を例にご説明します。他のバージョンの AccessDatabaseEngine をアンインストールされる方も基本的に同じ手順でアンインストールが可能です。バージョン番号を適宜読み替えて実施してください。

- ① Windows キーを押しながら R キーを押します。

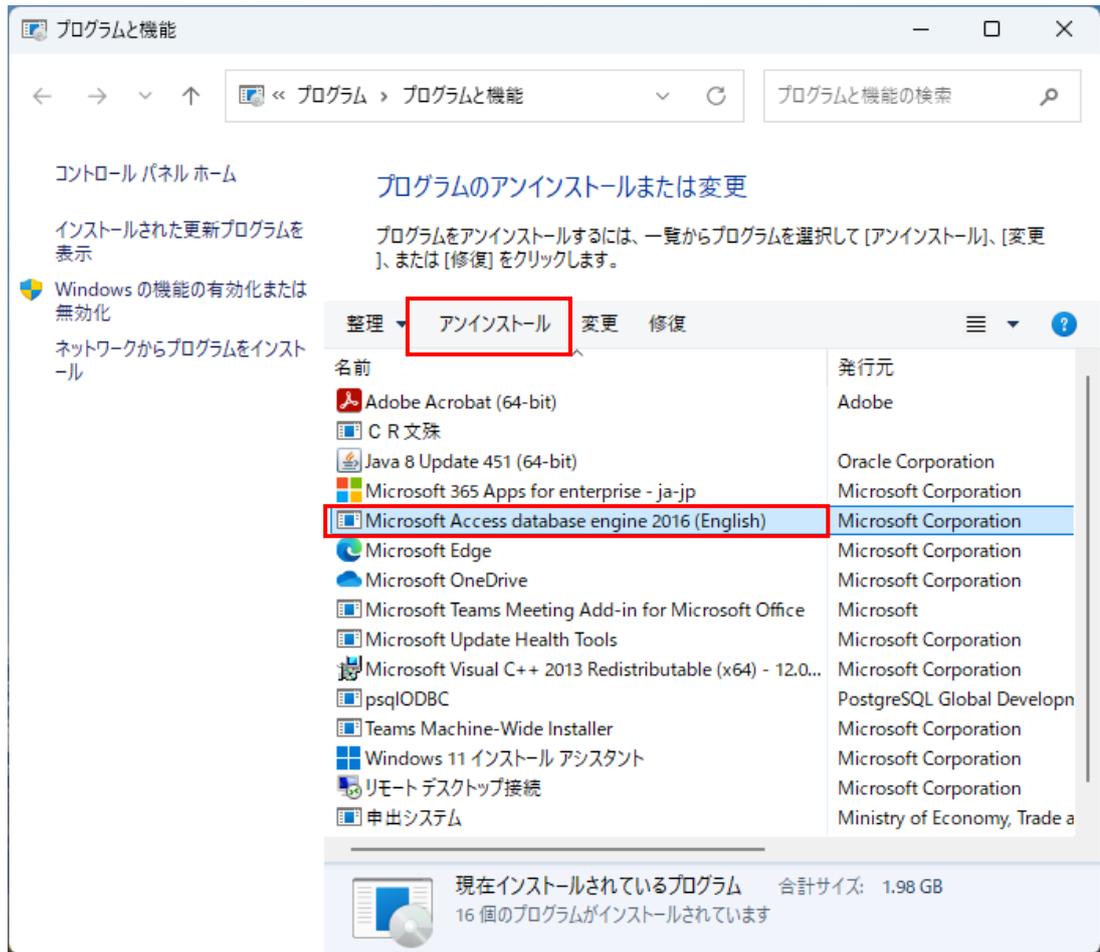


- ② 「control appwiz.cpl」を入力し「OK」ボタンをクリックします。

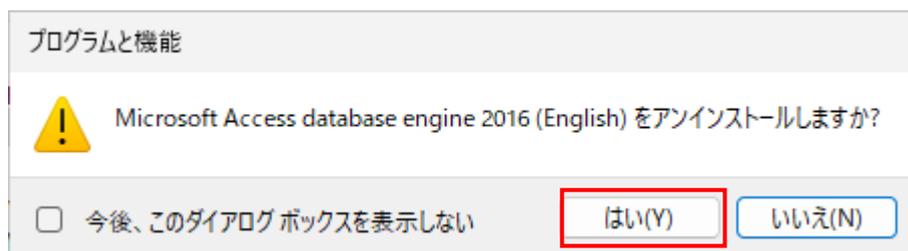


- ③ 「Microsoft Access database engine 2016 (English)」が表示されていることを確認します。表示されていない場合は「Microsoft Access database engine 2016 (English)」がインストールされていないので以降の手順をスキップしてください。

- ④ 「Microsoft Access database engine 2016 (English) 」を選択の上、「アンインストール」ボタンをクリックします。



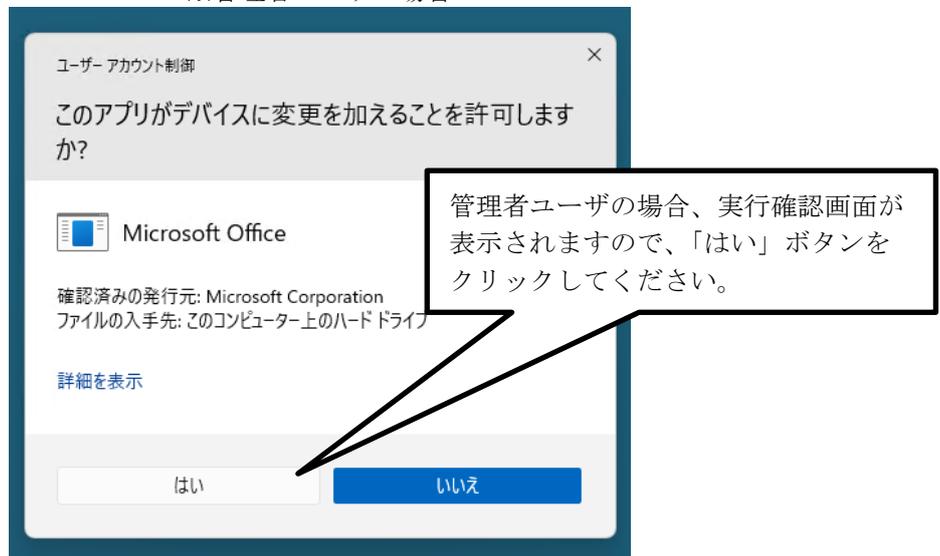
- ⑤ 削除することを確認するメッセージが表示されますので、「はい」をクリックするとアンインストールを開始します。



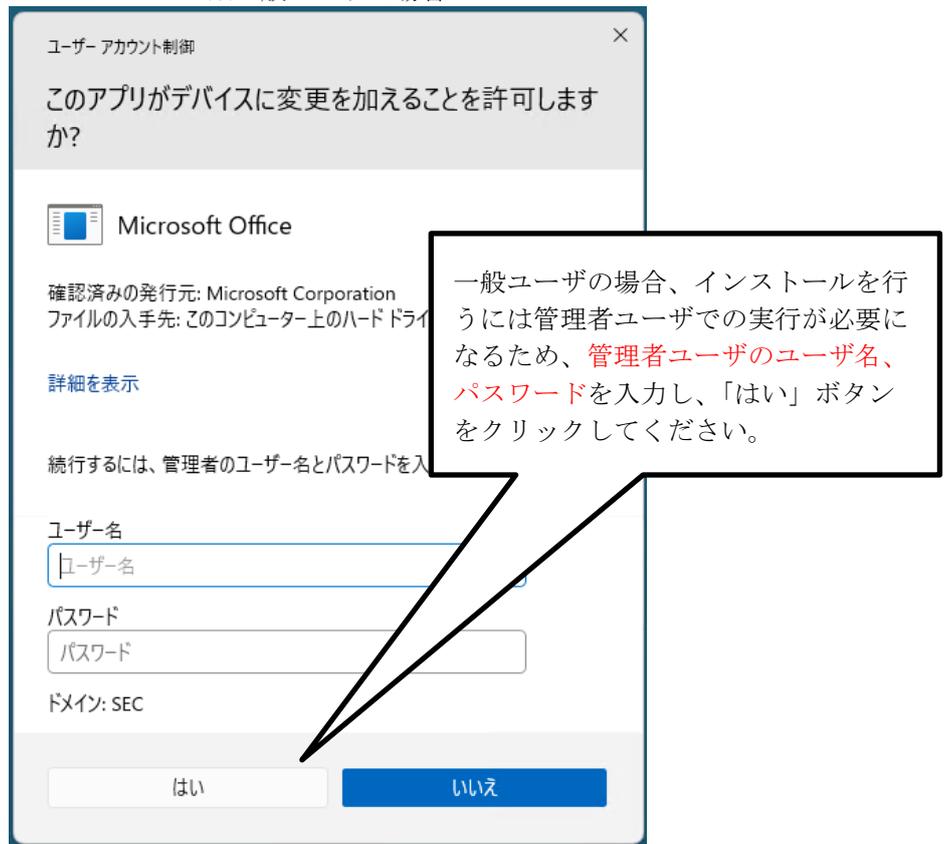
⑥ インストールを行っている Windows ユーザの権限によって下記図のようなユーザーアカウント制御画面がそれぞれ表示される場合があります。各画面の指示に従って操作を行い、処理を進めてください。

※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

※管理者ユーザの場合



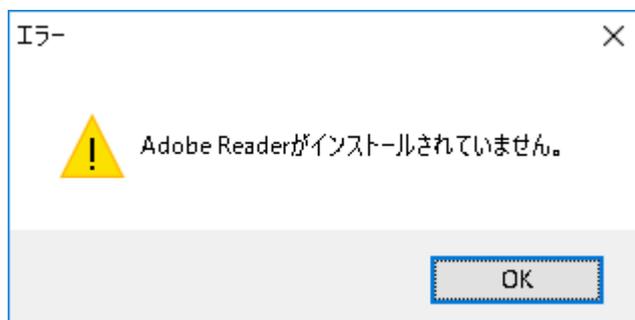
※一般ユーザの場合



⑦ アンインストールが完了すると、ダイアログが自動で閉じられます。

5 Adobe Reader のインストール手順

本章では、申出システム 7.03 の動作に必要な Adobe Reader のインストール手順について説明します。Adobe Reader がインストールされていないパソコンで申出システム 7.03 を使用すると、申出書印刷時などに以下のメッセージが表示されます。



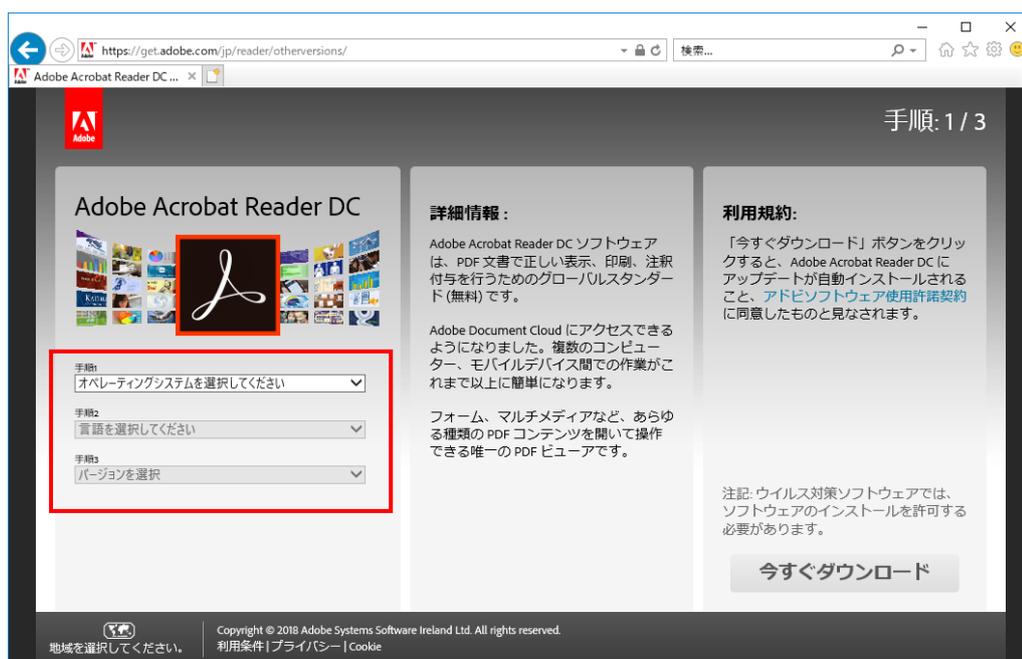
このメッセージが表示された場合、Adobe Reader のインストールが必要ですので、下記手順に従ってインストールを実施してください。

5.1 Adobe Reader をインストールする

「Adobe Acrobat Reader DC」もしくは「Adobe Reader XI」がインストールされていない場合、Adobe Reader のインストールが必要です。下記手順に従い、Adobe Reader をインストールしてください。

- ① 下記サイトに接続し、「手順 1」でインストールする対象パソコンの OS を選択し、「手順 2」で「Japanese」を、「手順 3」で「Reader DC」を選択してください。

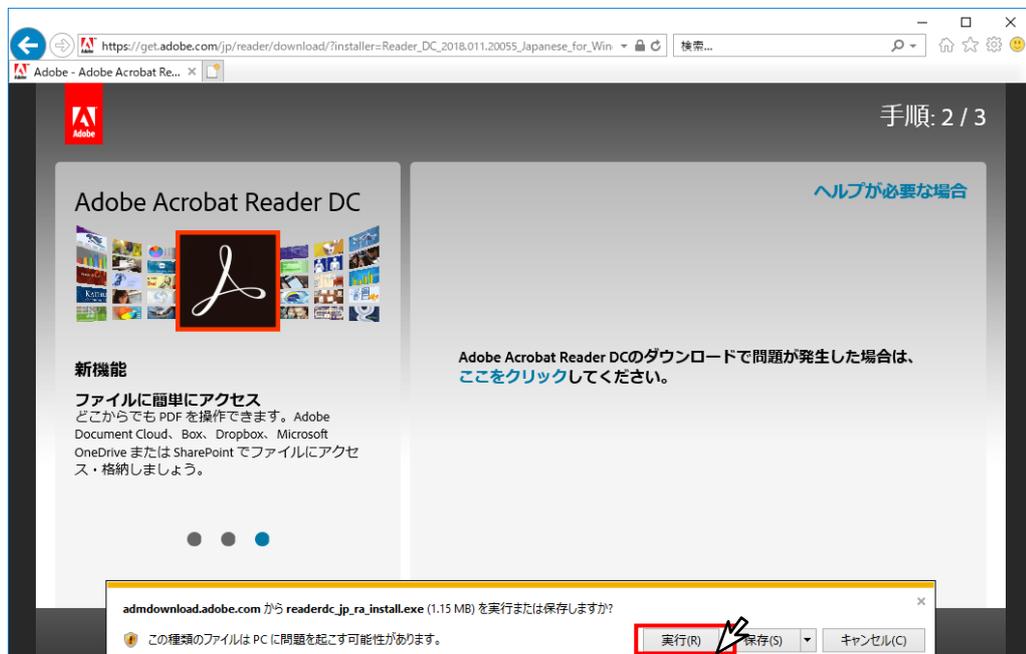
<https://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>



- ② 申出システム 7.03 を利用するためにオプションのプログラムのダウンロードは必要ありませんので、チェックボックスは全て未チェックにし、「今すぐダウンロード」ボタンをクリックしてください。



- ③ ダウンロードが完了すると、画面下部に確認ダイアログが表示されますので、「実行」ボタンをクリックしてください。他のパソコンにもインストールを実行する場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。



- ④ 確認ダイアログで「実行」ボタンをクリックする、もしくはダウンロードした readerdc_jp_ra_install.exe をダブルクリックすると、インストーラが起動されます。ユーザーアカウント制御の確認が出た場合、「はい(Y)」をクリックしてください。管理者ユーザのパスワードを求められた場合、管理者ユーザのパスワードを入力してください。

インストールが開始されますので、そのまましばらくお待ちください。



- ⑤ インストール完了画面が表示されたら「終了」ボタンをクリックしてください。ブラウザーが起動し、インストールが正常に完了したことを示す画面が表示されますので、ブラウザーを閉じてください。



6 (応用) データベースの共有

本章では、申出システム 7.03 のデータベース共有について説明します。

6.1 データベース共有とは

申出システム 7.03 では accdb ファイルでデータを管理しています。データを管理する accdb ファイルを共有サーバ上や共有フォルダ上に配置し、各利用者が参照することにより、同じデータを参照したり編集したりすることが可能になります。データベース共有を行うことは 6.2 で示しているようにメリットが多い一方で、6.3 で示すような申出システム 7.03 を利用することができなくなるデメリットも存在することも把握した上でご利用下さい。

6.2 データベース共有によるメリット

データベースファイル(accdb ファイル)を共有した場合、下記の機能を使用しなくても統括責任者一連絡担当者間でデータを共有することが可能になります。また、別の担当者が作成したデータを元に、継続作成や転用作成を利用したり、申出書データを修正したり、申出書を PDF ファイル形式で出力したりすることが可能になります。

また、初期設定時には、初期設定情報の出力や取込が不要になります。

6.3 データベース共有によるデメリット

データベースファイル(accdb ファイル)を共有した場合、共有サーバや共有フォルダを用意したマシンの電源が切られてしまったり、ネットワークから切断されてしまったりし、共有サーバや共有フォルダに接続できなくなった場合、申出システム 7.03 を起動することができなくなります。

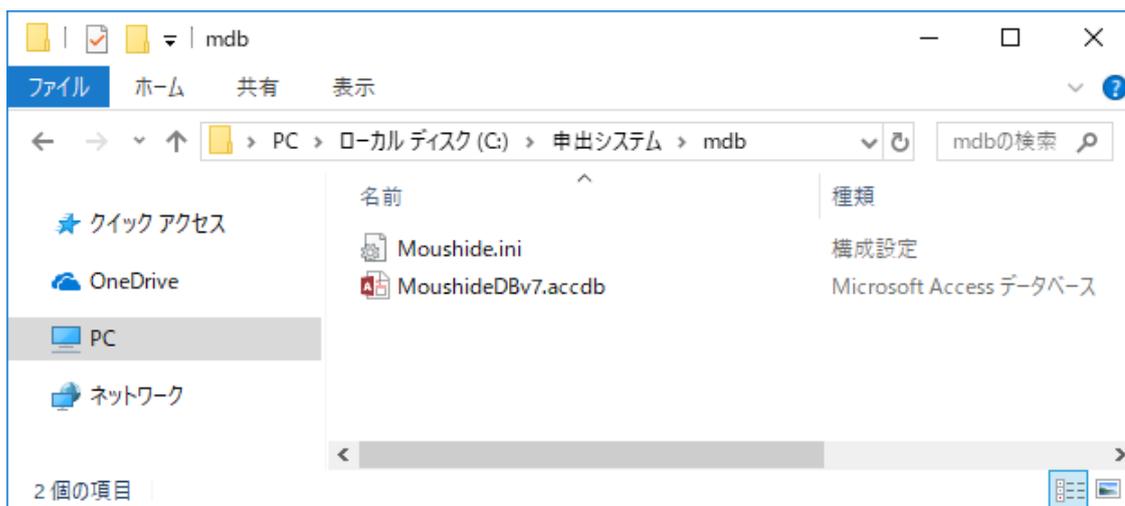
申出システム 7.03 を利用される時間帯に、確実に共有サーバや共有フォルダに接続できる環境を用意できない場合は、データベース共有により作業効率が低下する恐れがあります。

6.4 データベース共有を実施する手順

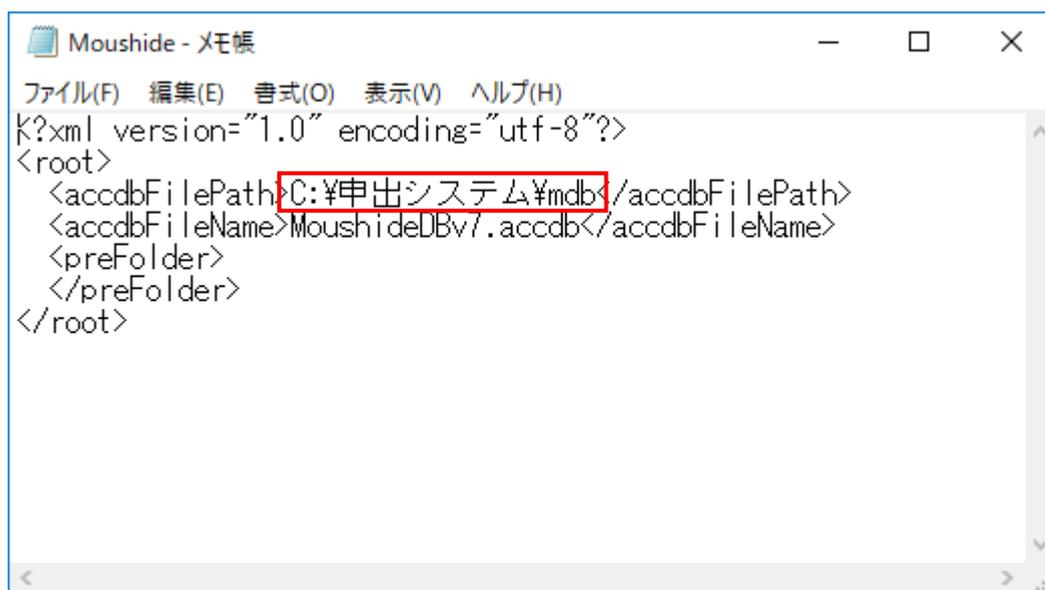
第3章申出システムのインストール手順に従って、申出システムをインストールした後に以下を実施してください。

- ① エクスプローラーを使用してインストールフォルダ（例：「C:¥申出システム¥mdb」）を表示し、データベースファイル（MoushideDBv7.accdb）を任意の共有サーバ上や共有フォルダ上にコピーしてください。

※既に統括責任者によりデータベースファイル（MoushideDBv7.accdb）が共有サーバ上等に配置されている場合は、本手順の実施は不要です。②の設定ファイル変更に進んでください。

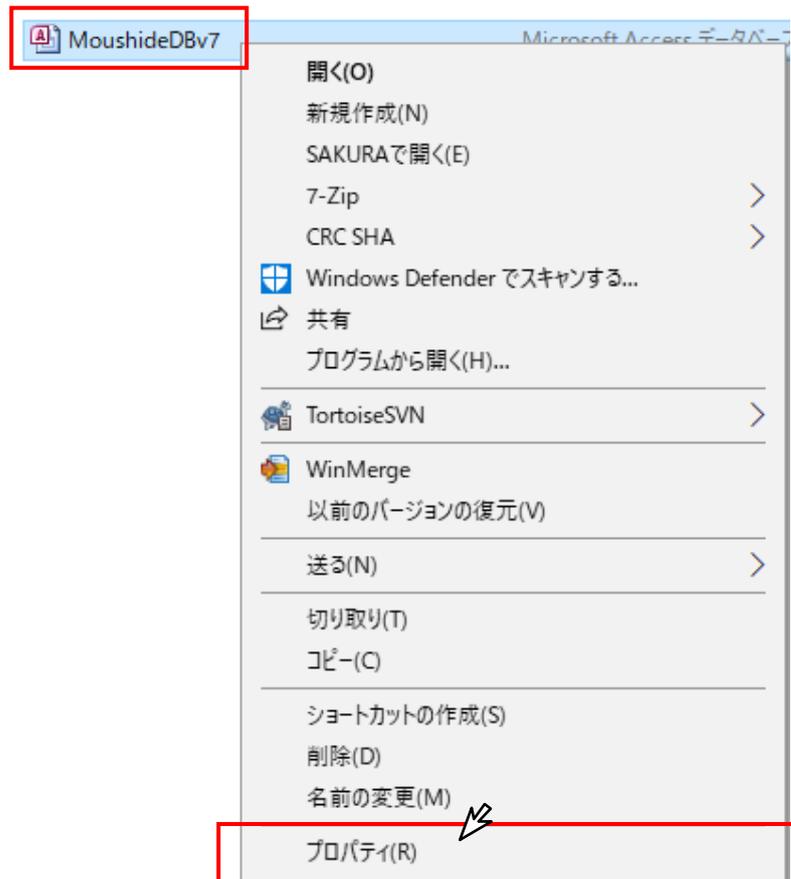


- ② インストールフォルダ（例：「C:¥申出システム¥mdb」）にある設定ファイル「Moushide.ini」をダブルクリックで開き、<accdbFilePath>~</accdbFilePath>の~の部分にあるPath情報（下記図では、3行目）をデータベースファイル（MoushideDBv7.accdb）を配置したフォルダに変更してください。



例) Moushide.ini の修正例

- ③ データベースファイル (MoushideDBv7.accdb) を右クリック⇒「プロパティ(R)」をクリックし、「MoushideDBv7.accdb のプロパティ」画面を表示します。



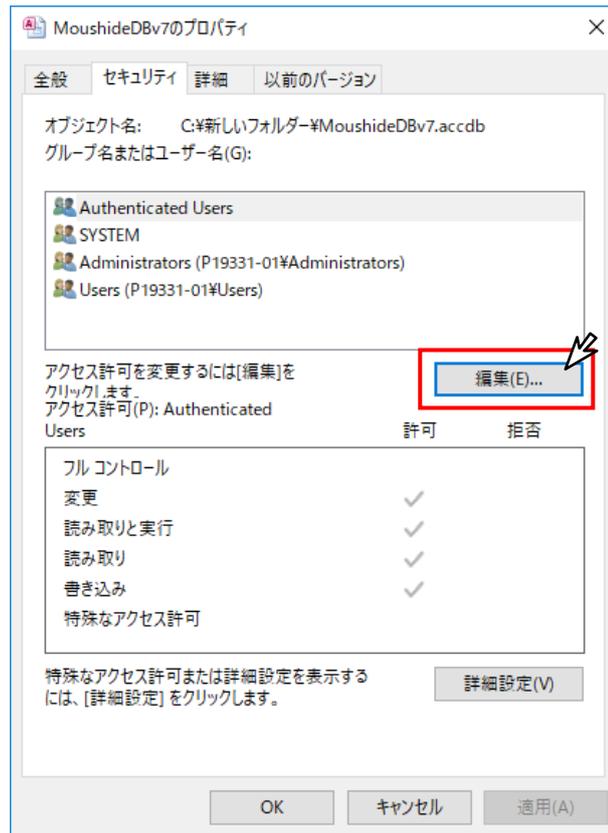
- ④ 「セキュリティ」タブ⇒「編集(E)」をクリックします。

※セキュリティの編集について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

※システム管理をされているご担当者様へ

申出システム 7.03 は accdb ファイルでデータを管理しているため、accdb ファイルへの書込み・読み取りを可能にする必要があります。

各事業者様のルールのもと、適切な設定をお願いいたします。



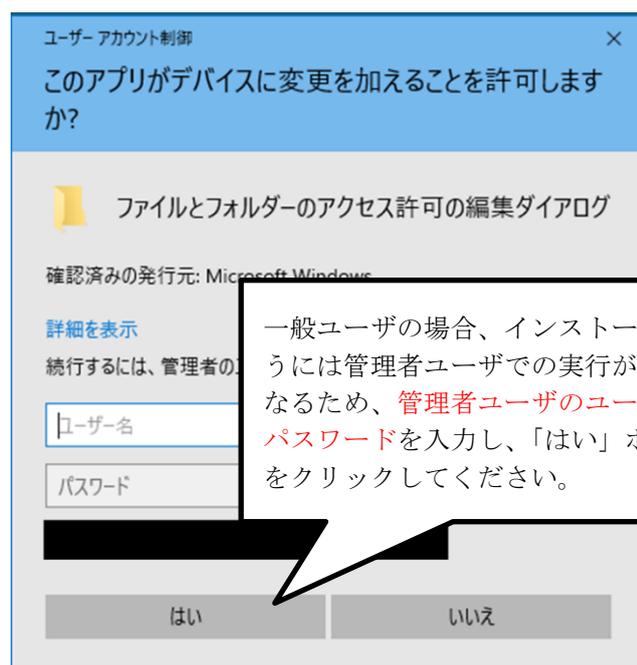
※一般ユーザの場合、ユーザーアカウント制御画面が表示される可能性がありますので、管理者ユーザのパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

※システム管理をされているご担当者様へ

申出システム 7.03 は acedb ファイルでデータを管理しているため、acedb ファイルへの書き込み・読み取りを可能にする必要があります。

各事業者様のルールのもと、適切な設定をお願いいたします。



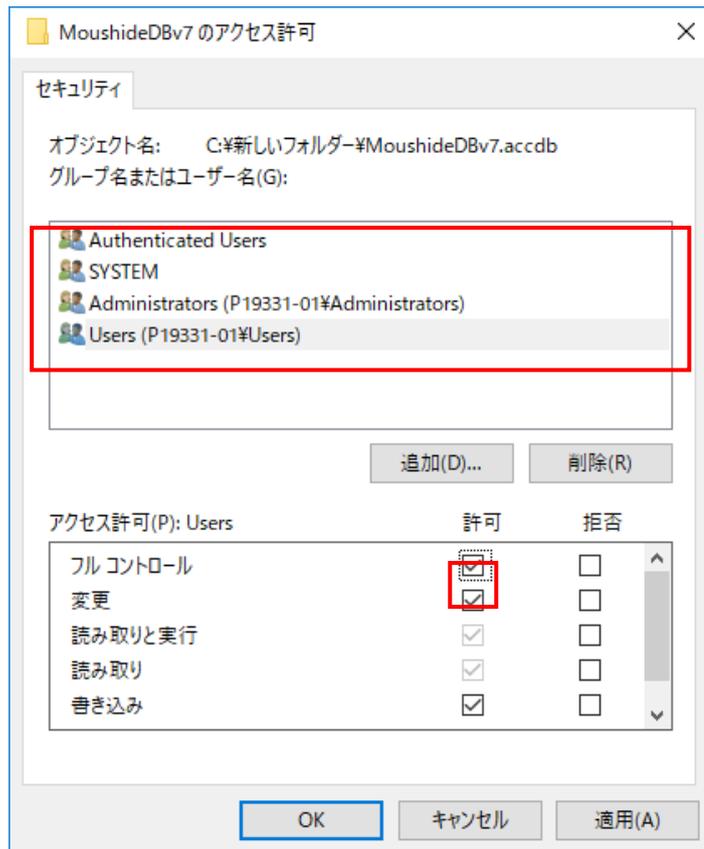
- ⑤ 画面上部の「グループ名またはユーザ名(G)」の一覧からシステムをインストールしたユーザ(※)を選択し、画面下部の「●●●のアクセス許可(P)」⇒「フル コントロール 許可」にチェック⇒「OK」ボタンをクリック⇒「プロパティ」画面で再度「OK」ボタンをクリックします。

※アクセス許可について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

※システム管理をされているご担当者様へ

申出システム 7.03 は accdb ファイルでデータを管理しているため、accdb ファイルへの書込み・読み取りを可能にする必要があります。

各事業者様のルールのもと、適切な設定をお願いいたします。



※システムをインストールしたユーザとは、お使いのパソコンのユーザのことを指します。

6.5 システム利用開始後にデータベース共有を実施する手順

データベース共有は、システム利用開始後に設定してご利用いただくことも可能です。

データベース (accdb ファイル) を共有せずに各連絡担当者及び統括責任者が各自のパソコンで申出システム 7.03 を利用開始していたが利用開始後にデータベース共有を実施する場合は、以下の手順に従って共有を実施してください。

- ① 各連絡担当者は、操作説明書の 6.2.1 に従い申出書データを統括責任者に提出してください。
- ② 統括責任者は、操作説明書の 6.2.2 に従い提出された申出書データを取り込んでください。
- ③ 統括責任者は、使用しているデータベース (accdb ファイル) を共有サーバ上や共有フォルダ上に移動してください。

※使用しているデータベース (accdb ファイル) は、特に移動を実施していない場合、申出システム 7.03 のインストールフォルダ内の「mdb」フォルダ内にある「MoushideDBv7.accdb」です。

移動を実施したか不明な場合は、同「mdb」フォルダ内にある Moushide.ini をご参照ください。

ファイルパスが「<accdbFilePath>」に、ファイル名が「<accdbFileName>」に記載されています。

※データベース (accdb ファイル) のファイル名はデフォルト「MoushideDBv7.accdb」のままご利用ください。

- ④ 統括責任者、および各連絡担当者は、設定ファイル（「C:¥申出システム¥mdb¥Moushide.ini」）を開き、<accdbFilePath>～ </accdbFilePath>となっている部分の「C:¥申出システム¥mdb」（初期値の場合）を、データベース (accdb ファイル) を配置したフォルダに変更してください。
- ⑤ 統括責任者、および各連絡担当者は、申出システム 7.03 を起動し、ログインできることを確認してください。

7 (応用) パソコン更新手順

新規パソコンに申出システム 7.03 をインストール後旧パソコンで作成した申出データを継続して利用する場合は、旧パソコンの申出データのバックアップを行い、新規パソコンに申出システム 7.03 をインストール後に、バックアップした申出データの移行が必要になります。

7.1 バックアップ

申出システム 7.0X (X=0, 1, 2, 3) は以下の手順でバックアップを取ることが出来ます。

- ① 申出システムのインストールフォルダをコピーします。
※申出システム 7.0X (X=0, 1, 2, 3) のデフォルトのインストールフォルダは、「C:¥申出システム¥」です。
- ② インストールフォルダ内の mdb フォルダの「Moushide.ini」を開きます。
- ③ データベースファイル (MoushideDBv7.accdb) を格納しているフォルダのパスを、<acddbFilePath> ~</acddbFilePath>の～部分の所で、確認してください。
フォルダのパスが、インストールフォルダ直下またはそのサブフォルダを指している場合は、以上でバックアップが完了です。これに該当しない場合は、次の手順に進んでください。
※ (例) <acddbFilePath>C:¥申出 システム¥mdb</acddbFilePath>
- ④ データベースファイルの名前を、<acddbFileName> ~</acddbFileName>の～部分の所で確認します。
※ (例) <acddbFileName>MoushideDBv7.accdb</acddbFileName>
- ⑤ データベースファイルを格納しているフォルダを開き、前の手順で確認したデータベースファイルをコピーします。以上でバックアップが完了です。

7.2 申出システムのインストール

新規パソコンに第 3 章申出システムのインストール手順に従って申出システムをインストールして下さい。

7.3 バックアップデータの移行

- ① 新規パソコンのインストールフォルダ内の mdb フォルダのデータベースファイル (MoushideDBv7.accdb) をバックアップしたデータベースファイル (MoushideDBv7.accdb) と入れ替えます。
- ② バックアップしたフォルダのパスがインストールフォルダ直下またはそのサブフォルダを指している場合は、以上でバックアップが完了です。これに該当しない場合は、次の手順に進んでください。
- ③ インストールフォルダ内の mdb フォルダの「Moushide.ini」を開きます。<acddbFilePath> ~</acddbFilePath>の～部分の所のパス情報をデータベースファイル (MoushideDBv7.accdb) を配置したフォルダに変更してください。以上でバックアップがバックアップデータの移行が完了です。